

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年10月3日
【事業年度】	2021年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
【会社名】	フランス相互信用連合銀行(BFCM) (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)
【代表者の役職氏名】	最高経営責任者 (Chief Executive Officer) ダニエル・バール (Daniel Baal)
【本店の所在の場所】	フランス、ストラスブール67000、リュ・フレデリック - ギヨーム・ライフアイゼン4 (4 rue Frédéric-Guillaume Raiffeisen - 67000 Strasbourg, France)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 三原 秀哲
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 J Pタワー 長島・大野・常松法律事務所
【電話番号】	03-6889-7125
【事務連絡者氏名】	弁護士 今野 恵一郎
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 J Pタワー 長島・大野・常松法律事務所
【電話番号】	03-6889-7125
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年6月29日提出の有価証券報告書（事業年度自2021年1月1日至2021年12月31日）の記載事項の一部を訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

表紙

第一部 企業情報

第2 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

3 事業の内容

4 関係会社の状況

5 従業員の状況

第3 事業の状況

2 事業等のリスク

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

4 経営上の重要な契約等

第4 設備の状況

2 主要な設備の状況

第5 提出会社の状況

1 株式等の状況

(5) 大株主の状況

3 コーポレート・ガバナンスの状況等

(1) コーポレート・ガバナンスの概要

(2) 役員の状況

第6 経理の状況

1 財務書類

3【訂正箇所】

訂正箇所は下線で示しております。

【表紙】

< 訂正前 >

< 前略 >

定義

< 中略 >

「クレディ・ミュチュエル・グループ」とは、ネットワークの統括機関であるコンフェデラシオン・ナショナル・デュ・クレディ・ミュチュエル (Confédération Nationale du Crédit Mutuel) の下に参集しているクレディ・ミュチュエル・アグリコル・エ・ルーラル (Crédit Mutuel Agricole et Rural) の連合体及び18の地域連合体からなる5つの地域グループである。「クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル」はその中でも最も重要なグループである。

< 後略 >

< 訂正後 >

< 前略 >

定義

< 中略 >

「クレディ・ミュチュエル・グループ」とは、ネットワークの統括機関であるコンフェデラシオン・ナショナル・デュ・クレディ・ミュチュエル (Confédération Nationale du Crédit Mutuel) の下に参集しているクレディ・ミュチュエル・アグリコル・エ・ルーラル (Crédit Mutuel Agricole et Rural) の連合体及び18の地域連合体からなる4つの地域グループである。「クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル」はその中でも最も重要なグループである。

< 後略 >

第一部 【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

< 訂正前 >

< 前略 >

経 営

< 中略 >

c. クレディ・ミュチュエル・グループ

< 中略 >

地域グループ

クレディ・ミュチュエル・グループは、クレディ・アグリコル・エ・ルーラル (CMAR) の連合体及び18の連合体からなる次の5つの地域グループで構成されている。

- ・ ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルを中心とする13の地域連合体からなるクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル
- ・ クレディ・ミュチュエル・アルケア (Crédit Mutuel Arkéa) のグループ並びに共同でケス・アンテルフェデラル・クレディ・ミュチュエル・アルケア (Caisse Interfédérale Crédit Mutuel Arkéa) を形成するその2つの地域連合体、すなわちブルターニュ (プレスト) 及びシュデスト (ボルドー)
- ・ クレディ・ミュチュエル・メーヌ - アンジュー、パス - ノルマンディ (Crédit Mutuel Maine-Anjou, Basse-Normandie) 地域グループ (ラヴァル)
- ・ クレディ・ミュチュエル・ノール・ユーロップ (Crédit Mutuel Nord Europe) 地域グループ (リール)

- ・ クレディ・ミュチュエル・オセアン (Crédit Mutuel Océan) 地域グループ (ラ・ロシュ - シュル - ヨン)

< 後略 >

< 訂正後 >

< 前略 >

経 営

< 中略 >

c. クレディ・ミュチュエル・グループ

< 中略 >

地域グループ

クレディ・ミュチュエル・グループは、クレディ・アグリコル・エ・ルーラル (CMAR) の連合体及び18の連合体からなる次の4つの地域グループで構成されている。

- ・ ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルを中心とする14の地域連合体からなるクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル
- ・ クレディ・ミュチュエル・アルケア (Crédit Mutuel Arkéa) のグループ並びに共同でケス・アンテルフェデラル・クレディ・ミュチュエル・アルケア (Caisse Interfédérale Crédit Mutuel Arkéa) を形成するその2つの地域連合体、すなわちプルターニュ (プレスト) 及びシュデスト (ボルドー)
- ・ クレディ・ミュチュエル・メーヌ - アンジュー、バス - ノルマンディ (Crédit Mutuel Maine-Anjou, Basse-Normandie) 地域グループ (ラヴァル)
- ・ クレディ・ミュチュエル・オセアン (Crédit Mutuel Océan) 地域グループ (ラ・ロシュ - シュル - ヨン)

< 後略 >

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

< 訂正前 >

< 前略 >

(2) BFCM (非連結ベース)

最近の5会計年度の財務成績 - フランスのGAAP

12月31日現在 / 12月31日終了年度					
(単位: ユーロ)	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
1. 事業年度終了時における資本金					
a) 資本金	1,688,529,500	1,688,529,500	1,688,529,500	1,688,529,500	1,688,529,500
b) 発行済普通株式数	33,770,590	33,770,590	33,770,590	33,770,590	33,770,590
c) 株式の額面価額	50	50	50	50	50
2. 経営成績					
a) 銀行業務純益、有価証券ポートフォリオからの収益及びその他の収益	1,537,311,765	901,303,697	1,998,597,812	1,105,048,350	593,256,096
b) 税金、従業員持株制度に係る費用、減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除前の利益 / (損失)	738,192,649	952,920,847	1,866,736,070	1,606,289,203	451,465,440
c) 法人税	-24,027,042	-70,287	141,415	1,955,240	-476,291
d) 従業員持株制度に係る当事業年度の費用	253,920	172,342	164,089	112,693	130,512
e) 税金、従業員持株制度に係る費用、減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除後の利益 / (損失)	1,229,991,596	679,724,687	2,003,541,913	991,617,935	-162,400,326

f) 分配利益	229,995,992 ⁽⁴⁾	101,987,182	300,558,251	130,016,772	81,049,416 ⁽³⁾
3. 一株当たり利益					
a) 税金及び従業員持株制度に係る費用控除後・減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除前の利益 / (損失)	21.14	28.21	55.27	47.50	13.38
b) 税金、従業員持株制度に係る費用、減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除後の利益 / (損失)	36.42	20.13	59.33	29.36	-4.81
c) 一株当たり配当 (通年)	6.72	3.02	8.90	3.85	2.40 ⁽³⁾
d) 2022年1月6日に行われた増資で発行された新株にかかる配当	6.72				
4. 従業員					
a) 当事業年度に雇用した従業員数の平均	68	71	69	67	68
b) 当事業年度の給与費用	8,148,624.87	8,657,267	7,815,575	7,933,548	8,148,625
c) 当事業年度に支払われた従業員給付 (社会保障、社会給付制度)	3,665,236.87	4,066,722	3,521,612	3,528,052	3,665,237
5. 資産合計					
	230,817,308,155	203,123,290,482	191,956,782,781	188,490,814,107	183,552,875,930

< 後略 >

< 訂正後 >

< 前略 >

(2) BFCM (非連結ベース)

最近の5会計年度の財務成績 - フランスのGAAP

(単位: ユーロ)	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年
1. 事業年度終了時における資本金					
a) 資本金	1,688,529,500	1,688,529,500	1,688,529,500	1,688,529,500	1,688,529,500
b) 発行済普通株式数	33,770,590	33,770,590	33,770,590	33,770,590	33,770,590
c) 株式の額面価額	50	50	50	50	50
2. 経営成績					
a) 銀行業務純益、有価証券ポートフォリオからの収益及びその他の収益	1,537,311,765	901,303,697	1,998,597,812	1,105,048,350	593,256,096
b) 税金、従業員持株制度に係る費用、減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除前の利益 / (損失)	738,192,649	952,920,847	1,866,736,070	1,606,289,203	451,465,440
c) 法人税	-30,957,765	70,287	-141,415	-1,955,240	-119,523,709
d) 従業員持株制度に係る当事業年度の費用	253,920	172,342	164,089	112,693	130,512
e) 税金、従業員持株制度に係る費用、減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除後の利益 / (損失)	1,229,991,596	679,724,687	2,003,541,913	991,617,935	-162,400,326
f) 分配利益	229,995,992 ⁽⁴⁾	101,987,182	300,558,251	130,016,772	81,049,416 ⁽³⁾
3. 一株当たり利益					

a)	税金及び従業員持株制度に係る費用控除後・減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除前の利益 / (損失)	21.14	28.21	55.27	47.50	13.38
b)	税金、従業員持株制度に係る費用、減価償却費、償却費及び引当金繰入額控除後の利益 / (損失)	36.42	20.13	59.33	29.36	-4.81
c)	一株当たり配当(通年)	6.72	3.02	8.90	3.85	2.40 ⁽³⁾
d)	2022年1月6日に行われた増資で発行された新株にかかる配当	6.72				
4. 従業員						
a)	当事業年度に雇用した従業員数の平均(名)	72	71	69	67	68
b)	当事業年度の給与費用	7,798,169	8,657,267	7,815,575	7,933,548	8,148,625
c)	当事業年度に支払われた従業員給付(社会保障、社会給付制度)	3,665,573	4,066,722	3,521,612	3,528,052	3,665,237
5. 資産合計		230,817,308,155	203,123,290,482	191,956,782,781	188,490,814,107	183,552,875,930

< 後略 >

3【事業の内容】

< 訂正前 >

はじめに

2021年12月31日現在、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、27.9百万名の顧客、およそ4,200の支店及び725,00名の従業員を擁している。

< 中略 >

3 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業分野の表示

< 中略 >

3.1 フランス及び欧州のリテール・バンキング及びコンシューマー・クレジット

< 中略 >

3.1.3 事業分野別子会社

< 中略 >

3.1.3.3 資産管理

クレディ・ミュチュエル・インベストメント・マネジャーズ

< 中略 >

2021年という年には、マネー・マーケット・ファンドが10億円のアウトフローであったのに対して、欧州のノンマネー・マーケット・ファンドにおいては32億ユーロという多額のプレミアム収入があった。クレディ・ミュチュエル・インベストメント・マネジャーズは、フランス市場において主導的な会社の1つである。

< 中略 >

3.3 専門事業分野

< 中略 >

3.3.1 プライベート・バンキング

< 中略 >

3.3.1.1 CIC・バンク・プリヴェ

< 中略 >

また、プロセスの簡素化も加速している。生命保険契約の管理業務は電子化され、資産配分プロセスは情報システムに統合されることになる。その他のプロジェクトは、戦略計画とミッションを有する企業の下である銀行の地位に関連したコミットメントの一環として行われた。顧客報告ツールが導入されたところであり、従業員研修計画も全面的に見直された。

< 中略 >

3.4 IT、ロジスティクス及びメディア

< 中略 >

ユーロ・プロテクション・シュルヴェイヤンス (Euro Protection Surveillance) (EPS)

< 中略 >

EPSは、2021年度に、59,700件を超える新規契約を締結して成長を続け、現在の契約者は532,000名を超えている。当年度中に、EPSは、BNPパリバの子会社で73,000名の加入者を有するプロテクション24を買収し、BNPパリバはEPSの非支配持分を取得した。

< 中略 >

ライフ・ペイ電子ウォレット

ライフ (Lyf) は、フランスの最初のフィンテック企業で、携帯電話を活用して支払いを簡素化し、日々の買い物体験に変革をもたらした。関連アプリケーションであるライフ・ペイ (Lyf Pay) は、さらに革新的かつ安全なサービスを統合し、2.4百万登録ユーザーを有している。

< 後略 >

< 訂正後 >

はじめに

2021年12月31日現在、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、27.9百万名の顧客、およそ4,200の支店及び72,500名の従業員を擁している。

< 中略 >

3 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業分野の表示

< 中略 >

3.1 フランス及び欧州のリテール・バンキング及びコンシューマー・クレジット

< 中略 >

3.1.3 事業分野別子会社

< 中略 >

3.1.3.3 資産管理

クレディ・ミュチュエル・インベストメント・マネジャーズ

< 中略 >

2021年という年には、マネー・マーケット・ファンドが10億ユーロのアウトフローであったのに対して、欧州のノンマネー・マーケット・ファンドにおいては32億ユーロという多額のプレミアム収入があった。クレディ・ミュチュエル・インベストメント・マネジャーズは、フランス市場において主導的な会社の1つである。

< 中略 >

3.3 専門事業分野

< 中略 >

3.3.1 プライベート・バンキング

< 中略 >

3.3.1.1 CIC・バンク・プリヴェ

< 中略 >

また、プロセスの簡素化も加速している。生命保険契約の管理業務は電子化され、資産配分プロセスは情報システムに統合されることになる。その他のプロジェクトは、戦略計画とミッションを有する企業である銀行の地位に関連したコミットメントの一環として行われた。顧客報告ツールが導入されたところであり、従業員研修計画も全面的に見直された。

< 中略 >

3.4 IT、ロジスティクス及びメディア

< 中略 >

ユーロ・プロテクション・シュルヴェイヤンス (Euro Protection Surveillance) (EPS)

< 中略 >

EPSは、2021年度に、59,700件を超える新規契約を締結して成長を続け、現在の契約者は532,000名を超えている。当年度中に、EPSは、BNPパリバの子会社で73,000名超の加入者を有するプロテクション24を買収し、BNPパリバはEPSの非支配持分を取得した。

< 中略 >

ライフ・ペイ電子ウォレット

ライフ (Lyf) は、フランスの最初のフィンテック企業で、携帯電話を活用して支払いを簡素化し、日々の買い物体験に変革をもたらした。関連アプリケーションであるライフ・ペイ (Lyf Pay) は、さらに革新的かつ安全なサービスを統合し、2.4百万を超える登録ユーザーを有している。

<後略>

4【関係会社の状況】

<訂正前>

<前略>

BFCMの子会社

2021年12月31日現在、BFCMは以下の子会社を有している。主要な子会社の詳細は、以下のとおりである。

2021年12月31日現在

子会社の名称	設立場所及び事業場所	資本金 (千ユーロ) (2019年12月31日現在)	主要な事業の内容	BFCMが保有する子会社における議決権の割合(%)	BFCMとの関係
--------	------------	----------------------------------	----------	---------------------------	----------

<中略>

2) 関連会社(10%から50%を保有)					
フロア(旧バンク・デュ・グループ・カジノ) (2012年1月1日以降)	パリ、フランス	92,470	銀行ネットワーク事業子会社	50.00	カジノ・グループとの合弁事業 F.ルブレ氏及びP.ロージェル氏が取締役会メンバーを務める

<後略>

<訂正後>

<前略>

BFCMの子会社

2021年12月31日現在、BFCMは以下の子会社を有している。主要な子会社の詳細は、以下のとおりである。

2021年12月31日現在

子会社の名称	設立場所及び事業場所	資本金 (千ユーロ) (2020年12月31日現在)	主要な事業の内容	BFCMが保有する子会社における議決権の割合(%)	BFCMとの関係
--------	------------	----------------------------------	----------	---------------------------	----------

<中略>

2) 関連会社(10%から50%を保有)					
フロア(旧バンク・デュ・グループ・カジノ)	パリ、フランス	92,470	銀行ネットワーク事業子会社	50.00	カジノ・グループとの合弁事業 F.ルブレ氏及びP.ロージェル氏が取締役会メンバーを務める

<後略>

5【従業員の状況】

<訂正前>

<前略>

(2) BFCMの状況(非連結ベース)

2021年12月31日現在

従業員数(注)	従業員数の平均年齢	従業員数の平均勤続年数	従業員の平均年間給与 (賞与を含む。)
72	46歳 1 ヶ月	20年 4 ヶ月	102,049ユーロ

<後略>

<訂正後>

<前略>

(2) BFCMの状況(非連結ベース)

2021年12月31日現在

従業員数(注)	従業員数の平均年齢	従業員数の平均勤続年数	従業員の平均年間給与 (賞与を含む。)
72名	46歳 1 ヶ月	20年 4 ヶ月	102,049ユーロ

<後略>

第3【事業の状況】

2【事業等のリスク】

<訂正前>

<前略>

1 グループの銀行業務及び保険業務に関するリスク

1.1 信用リスク

<中略>

- d. クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは主にフランスにおいて、特定の主権国家、取引銀行又は大企業グループに対して比較的高い単一のエクスポージャーを有しており、これらの一部は公的機関が実施する支援策（すなわち、保証付きローン）から恩恵を受けている。**グループの最大顧客の一つ又はそれ以上が債務不履行に陥った場合、グループの収益性が低下する可能性がある。**主権国家（2021年度末の総エクスポージャーは1,920億ユーロ）については、グループは主にフランス（1,620億ユーロ）（主にユーロ・システムの加盟銀行であるフランス銀行（Banque de France）（1,050億ユーロ））及びフランス預金供託金庫（Caisse des Dépôts et Consignations）のリスク（320億ユーロ。規制貯蓄からの預金の集中化のための仕組みにより、フランスのソブリン・リスクに相当する。）にさらされている。主権国家以外では、2021年12月31日現在、300百万ユーロ（純損益の10%未満に相当）を超えるオン及びオフ・バランスシートの単一のエクスポージャーは、銀行の8のカウンターパーティーについて530億ユーロ（主に住宅貸出金ポートフォリオの一部を保証するクレディ・ロジュマン（Crédit Logement）のオフ・バランスシート）及び59のカウンターパーティーとの取引について370億ユーロとなった。これらのカウンターの幾つかが同時に格下げ又は債務不履行となる可能性は排除できず、そうなった場合、グループの収益性に影響が及ぶと考えられる。

<中略>

2 グループの活動及びマクロ経済環境に関するリスク

<中略>

2.1 流動性リスク

流動性リスクは、銀行がそのコミットメントの履行のために必要な資金をいつでも合理的な価格で調達することのできる能力をいう。そのため、短期的、中期的及び長期的な財源の不足により、現金の純流出を吸収できない金融機関は、流動性リスクにさらされる。

<中略>

2.2 金利リスク

<中略>

6つの規制上のシナリオに従って決定されるクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのバランスシートの正味現在価値（NPV）の感応度は、普通株式等Tier 1資本の閾値15%を下回っている。2021年12月31日現在の普通株式Tier 1資本に対するNPVの下方感応度は-3.94%で、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、利回り曲線全体の上昇に影響を受けやすい。1年及び2年の銀行業務純益の感応度は、複数のシナリオ（下限を設定した100 bps毎のレート増減、200 bps毎のレートの増減）及び2つのストレス・シナリオ（利回り曲線の平坦化/逆転、並びに短期及び長期レートの停滞/インフレーション）に従って決定される。「代替的な後押しを伴うスタグフレーション」シナリオは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにとって最も好ましくないシナリオであり、影響は、2021年12月31日現在、-7.11%（-934百万ユーロ）である。

<中略>

3 グループの規制環境に関するリスク

<中略>

3.2 破綻処理制度の実施に関するリスク

規制は、第L.511-31条において言及する対策を適用した後に、グループ及びその全ての関係会社の中心的組織であるCNCMが債務不履行に陥った場合又はその可能性がある場合に、重要な機能の継続性を確保し、連鎖リスクを回避し、資本を増強し、又は金融機関の存続可能性を確保することを目的として、クレディ・ミュチュエル・グループに関する倒産手続を開始する権限を、破綻処理当局に与えている。これらの権限は、損害が（一定の例外はあるものの）、債権の優先順位に従って、最初に資本性金融商品の減損又は転換によって負担された後、追加のTier 1及びTier 2資本性金融商品の保有者、フランス

通貨金融法典第L.613-30-3条第5項において追加のTier 1又はTier 2資本性金融商品として言及されるもの以外の劣後債権の保有者によって負担され、次に非上位優先社債権者によって負担され、最後に上位優先社債権者によって負担される形で行使されなければならない。

< 中略 >

5. その他のリスク

政府による監督及び発行会社の規制

フランス及び欧州の規制の枠組み

< 中略 >

最低自己資本比率、流動性比率及びレバレッジ比率

< 中略 >

欧州委員会が2016年11月23日に発出した、CRD を含むEUの主要な指令及び規制を改正する複数の法案に続き、免除事業体、金融持株会社、複合金融持株会社、報酬、監督方法及び権限、並びに資本保全方法に関してCRD 指令を改正する、2019年5月20日付の指令（EU）2019/878号（以下「CRD 指令」という。）、並びに、レバレッジ比率、純安定調達比率、自己資本の基準、適格債務、カウンターパーティー信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示要件に関してCRR規制を改正する、2019年5月20日付の規則（EU）2019/876号（以下「CRR 規則」という。）は、2019年6月7日に欧州連合官報（Official Journal of the European Union）で公表された。CRD 指令は政令第2020-1635号によりフランス法に組み入れられ、併せて本政令によりCRR 規則の一部廃止が実施された。同規則は、一定の例外を除き、2021年6月末までに適用される。

< 中略 >

CRR 規則に基づいて、フランスの金融機関は、連結ベースで、リスクの集中（ratio de contrôle des grands risques）に関する一定の制限を満たさなければならない。フランスの金融機関の単一の顧客（及び関係機関）に対する貸出金及び一定のその他のエクスポージャー（risques）の割合の総額は、金融機関の適格自己資本（又は、CRR 規則の適用以降はTier 1資本）の25%、また一定の財務機関に対するエクスポージャーについては、金融機関の適格自己資本（又は、CRR 規則の適用以降はTier 1資本）の25%と150百万ユーロのいずれか高額な方を超過することはできない。一部の個別エクスポージャーは、特定の規制要件の対象となることがある。

フランスの金融機関は、それぞれ、各月末に、一定の短期及び流動資産の加重合計と短期負債の加重合計の比率を算出するよう求められている。この流動性比率（coefficient de liquidité）は常に100%を超えていなければならない。フランスの金融機関は、関連規制当局に申し出ることによって、かつ一定の状況下において、流動性リスクの算定について「先進的」手法を選択することができる。先進的手法の下では、金融機関は流動性リスクを判断し、その短期のコミットメントを履行するため常に十分な流動性を確保するために、内部手法を使用することができる。CRD 規則は、流動性規制を導入しており、これにより金融機関は、その合計額が30暦日の期間にわたる重大なストレス状況において生じうる純流動性流出を担保する流動資産を保有することを求められる。流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）は、段階的導入期間を経て、現在完全に適用されている。加えて、バーゼル委員会の提言に基づき、CRR 規則は、通常の状態とストレス状態の両方における1年間の資金需要を満たすのに十分な安定調達額を保有するよう金融機関に指示する、最低水準を100%と設定された拘束力のある純安定調達比率（以下、「NSFR」という。）を導入した。2021年6月28日に適用されるこの要件は、短期のホールセール資金調達への過度の依存に対処し、長期資金調達リスクを軽減することを目的としている。

< 中略 >

実質破綻時の損失吸収及び破綻処理

< 中略 >

資本軽減措置

< 中略 >

加えて、2020年4月28日、欧州委員会は、COVID-19の世界的流行に関連する銀行の貸出能力及び損失吸収能力を改善するため、CRRを改正する立法案を採択した。欧州委員会は、その提案が、緊急を要する問題として欧州議会及び理事会により検討され、2020年6月に採択されることを期待している。

監督措置

EBAは、2020年3月12日の声明において、EU全体のストレス・テストを2021年まで延期することを発表し、所轄当局に対して、実際的な方法で監督活動を行い、ヨーロッパの銀行の財務及び健全性の状況を監視するために必要とされる重要な財務情報の報告に影響を与えることなく、銀行が業務の継続性を優先することができるようにするため、要求される報告の一部の分野について柔軟性を提供するように勧告した。EBAは、2021年第2又は第3四半期に、EU全体を対象とするストレス枠組みの変更可能性に関する最終決定を行う見込みである。一方、変更の実施は、早くても2023年に行われるEU全体のストレス・テストにおいて可能となる見込みである。2021年1月29日、EBAは、2021年のEU全体のストレス・テストを開始した。このテストの悪化シナリオは、金利環境が「より長期間にわたり低下」する中でCOVID-19が長期化し、景況感に対する負のショックが景気後退を長引かせるというストーリーに基づいている。EBAは、当該ストレス・テストの結果を2021年7月31日までに公表する見込みである。EU全体を対象とするこのストレス・テストは、EUの銀行から抽出した50行（単一監督メカニズムの管轄下にある国々の38行を含む。）について実施されており、欧州連合及びノルウェーの銀行部門の資産総額（2019年末現在の連結資産総額により表示）の約70%をカバーしている。

< 後略 >

< 訂正後 >

< 前略 >

1 グループの銀行業務及び保険業務に関するリスク

1.1 信用リスク

< 中略 >

- d. クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは主にフランスにおいて、特定の主権国家、取引銀行又は大企業グループに対して比較的高い単一のエクスポージャーを有しており、これらの一部は公的機関が実施する支援策（すなわち、保証付きローン）から恩恵を受けている。**グループの最大顧客の一つ又はそれ以上が債務不履行に陥った場合、グループの収益性が低下する可能性がある。**主権国家（2021年度末の総エクスポージャーは1,920億ユーロ）については、グループは主にフランス（1,620億ユーロ）（主にユーロ・システムの加盟銀行であるフランス銀行（Banque de France）（1,050億ユーロ超））及びフランス預金供託金庫（Caisse des Dépôts et Consignations）のリスク（320億ユーロ。規制貯蓄からの預金の集中化のための仕組みにより、フランスのソブリン・リスクに相当する。）にさらされている。主権国家以外では、2021年12月31日現在、300百万ユーロ（純損益の10%未満に相当）を超えるオン及びオフ・バランスシートの単一のエクスポージャーは、銀行の8のカウンターパーティーについて530億ユーロ（主に住宅貸出金ポートフォリオの一部を保証するクレディ・ロジュマン（Crédit Logement）のオフ・バランスシート）及び59のカウンターパーティーとの取引について370億ユーロとなった。これらのカウンターパーティーの幾つかが同時に格下げ又は債務不履行となる可能性は排除できず、そうなった場合、グループの収益性に影響が及ぶと考えられる。

< 中略 >

2 グループの活動及びマクロ経済環境に関するリスク

< 中略 >

2.1 流動性リスク

流動性リスクは、銀行がそのコミットメントの履行のために必要な資金をいつでも合理的な価格で調達することのできる能力に対するリスクをいう。そのため、短期的、中期的及び長期的な財源の不足により、現金の純流出を吸収できない金融機関は、流動性リスクにさらされる。

< 中略 >

2.2 金利リスク

< 中略 >

6つの規制上のシナリオに従って決定されるクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのバランスシートの正味現在価値（NPV）の感応度は、普通株式等Tier 1資本の閾値15%を下回っている。2021年12月31日現在の普通株式Tier 1資本に対するNPVの下方感応度は-3.94%で、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、利回り曲線全体の上昇に影響を受けやすい。1年及び2年の銀行業務純益の感応度は、複数のシナリオ（下限を設定した100 bps毎のレート増減、200 bps毎のレートの増減）及び2つのストレス・シナリオ（利回り曲線の平坦化/逆転、並びに短期及び長期レートの停滞/

インフレーション)に従って決定される。「代替的な後押しを伴うスタグフレーション」シナリオは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにとって最も好ましくないシナリオであり、2年間にわたる影響は、2021年12月31日現在、-7.11%(-934百万ユーロ)である。

< 中略 >

3 グループの規制環境に関するリスク

< 中略 >

3.2 破綻処理制度の実施に関するリスク

規制は、第L.511-31条において言及する対策を適用した後に、グループ及びその全ての関係会社の中心的組織であるCNCMが債務不履行に陥った場合又はその可能性がある場合に、重要な機能の継続性を確保し、連鎖リスクを回避し、資本を増強し、又は金融機関の存続可能性を確保することを目的として、クレディ・ミュチュエル・グループに関する倒産手続を開始する権限を、破綻処理当局に与えている。これらの権限は、損害が(一定の例外はあるものの)、債権の優先順位に従って、最初に普通株式等Tier 1の減損又は転換によって負担された後、追加のTier 1及びTier 2資本性金融商品の保有者、フランス通貨金融法典第L.613-30-3条第5項において追加のTier 1又はTier 2資本性金融商品として言及されるもの以外の劣後債権の保有者によって負担され、次に非上位優先社債権者によって負担され、最後に上位優先社債権者によって負担される形で行使されなければならない。

< 中略 >

5 . その他のリスク

政府による監督及び発行会社の規制

フランス及び欧州の規制の枠組み

< 中略 >

最低自己資本比率、流動性比率及びレバレッジ比率

< 中略 >

欧州委員会が2016年11月23日に発出した、CRD を含むEUの主要な指令及び規制を改正する複数の法案に続き、免除事業体、金融持株会社、複合金融持株会社、報酬、監督方法及び権限、並びに資本保全方法に関してCRD 指令を改正する、2019年5月20日付の指令(EU)2019/878号(以下「CRD 指令」という。)、並びに、レバレッジ比率、純安定調達比率、自己資本の基準、適格債務、カウンターパーティー信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示要件に関してCRR規制を改正する、2019年5月20日付の規則(EU)2019/876号(以下「CRR 規則」という。)は、2019年6月7日に欧州連合官報(Official Journal of the European Union)で公表された。CRD 指令は政令第2020-1635号によりフランス法に組み入れられ、併せて本政令によりCRR 規則の一部廃止が実施された。同規則は、一定の例外を除き、2021年6月末までに適用されている。

< 中略 >

CRR 規則に基づいて、フランスの金融機関は、連結ベースで、リスクの集中(ratio de contrôle des grands risques)に関する一定の制限を満たさなければならない。フランスの金融機関の単一の顧客(及び関係機関)に対する貸出金及び一定のその他のエクスポージャー(risques)の割合の総額は、金融機関の適格自己資本(又は、CRR 規則の適用以降はTier 1資本)の25%、また一定の金融機関に対するエクスポージャーについては、その金融機関の適格自己資本(又は、CRR 規則の適用以降はTier 1資本)の25%と150百万ユーロのいずれが高額な方を超過することはできない。一部の個別エクスポージャーは、特定の規制要件の対象となることがある。

フランスの金融機関は、それぞれ、各月末に、一定の短期及び流動資産の加重合計と短期負債の加重合計の比率を算出するよう求められている。この流動性比率(coefficient de liquidité)は常に100%を超えていなければならない。フランスの金融機関は、関連規制当局に申し出ることによって、かつ一定の状況下において、流動性リスクの算定について「先進的」手法を選択することができる。先進的手法の下では、金融機関は流動性リスクを判断し、その短期のコミットメントを履行するため常に十分な流動性を確保するために、内部手法を使用することができる。CRR 規則は、流動性規制を導入しており、これにより金融機関は、その合計額が30暦日の期間にわたる重大なストレス状況において生じうる純流動性流出を担保する流動資産を保有することを求められる。流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、段階的導入期間を経て、現在完全に適用されている。加えて、パーゼル委員会の提言に基づ

き、CRR 規則は、通常の状況とストレス状況の両方における1年間の資金需要を満たすのに十分な安定調達額を保有するよう金融機関に指示する、最低水準を100%と設定された拘束力のある純安定調達比率（以下、「NSFR」という。）を導入した。2021年6月28日に適用されるこの要件は、短期のホールセール資金調達への過度の依存に対処し、長期資金調達リスクを軽減することを目的としている。

< 中略 >

実質破綻時の損失吸収及び破綻処理

< 中略 >

資本軽減措置

< 中略 >

加えて、2020年4月28日、欧州委員会は、COVID-19の世界的流行に関連する銀行の貸出能力及び損失吸収能力を改善するため、CRRを改正する立法案を採択した。欧州委員会は、その提案が、緊急を要する問題として欧州議会及び欧州連合理事会により検討され、2020年6月に採択されることを期待している。

監督措置

EBAは、2020年3月12日の声明において、EU全体のストレス・テストを2021年まで延期することを発表し、所轄当局に対して、実際的な方法で監督活動を行い、ヨーロッパの銀行の財務及び健全性の状況を監視するために必要とされる重要な財務情報の報告に影響を与えることなく、銀行が業務の継続性を優先することができるようにするため、要求される報告の一部の分野について柔軟性を提供するよう勧告した。EBAは、2021年第2又は第3四半期に、EU全体を対象とするストレス枠組みの変更可能性に関する最終決定を行った。一方、変更の実施は、早くても2023年に行われるEU全体のストレス・テストにおいて可能となる見込みである。2021年1月29日、EBAは、2021年のEU全体のストレス・テストを開始した。このテストの悪化シナリオは、金利環境が「より長期間にわたり低下」する中でCOVID-19が長期化し、景況感に対する負のショックが景気後退を長引かせるというストーリーに基づいている。EBAは、当該ストレス・テストの結果を2021年7月31日に公表した。EU全体を対象とするこのストレス・テストは、EUの銀行から抽出した50行（単一監督メカニズムの管轄下にある国々の38行を含む。）について実施されており、欧州連合及びノルウェーの銀行部門の資産総額（2019年末現在の連結資産総額により表示）の約70%をカバーしている。

< 後略 >

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

< 訂正前 >

1 2021年の経済環境及び規制環境

1.1 経済環境

2021年：インフレ及びパンデミックにもかかわらず回復を続ける

< 中略 >

ユーロ圏においては、年初は流行の再燃が顕著であり、各国が定めた健康上の制限によって成長が圧迫された。しかしながら、経済が徐々に再開し、特に家計消費に牽引された活動再開により春の終わりには楽観的な見方が戻った。ECBの超緩和的金融政策は、ユーロ圏の良好な資金調達環境の維持に大きく貢献した。これにより、連続する流行波にもかかわらず、国家は経済を支え続けることができた。ワクチン接種が進んだことで、年末にオミクロン変異種が出現したにもかかわらず、活動に対する流行の影響は今や減少しつつある。ただし、健康危機は引き続きインフレ圧力を悪化させている。その結果、ECBは、パンデミックに関連した資産購入プログラムを2022年に終了することを確認して、金融引き締めへ転じなければならなくなった。このことは、全体としてその動きが限定的なものに留まったとしても、欧州ソブリン金利の上昇に寄与した。欧州の株式市場は好調に推移し、特にCAC40は2021年に+29%の増加を記録し、2021年末には過去最高の7,153ポイントに達した。

< 中略 >

1.2 規制環境

< 中略 >

気候リスク

< 中略 >

気候リスクの監視要件もタクソノミー規則の委任行為の採択によって強化された。持続可能な経済活動に投資された銀行資産の割合を計算するグリーン・アセット・レシオ（GAR）という新たな比率と6つの持続可能性の基準に従った資産の分類は2022年から段階的に実施される。またこの規則は、2022年以降の報告要件も強化する。

< 中略 >

マネーロンダリング及びテロ資金供与防止（AML-CTF）

2021年1月6日法令は、AML-CTF及び資産凍結の観点から規制要件を強化するものである。この法令は、AML-CTFについての対策及び内部統制システムを増強すると共に関連する統制機能の独立性を高めている。

< 中略 >

ガバナンス

EBAは、内部ガバナンス、報酬政策並びに上級管理職及び主要な部門マネージャーの適性評価に関する主要ガイドラインのうち3つを改訂した。この最後の点については、ECBのフィット&プロパー指針及び質問票の改訂を伴って進められた。これらの変更は2021年12月31日に発効した。

< 中略 >

2 BFCMの活動及び連結業績

2.1 BFCMの活動及び業績 - 連結範囲

< 中略 >

2.1.2 連結財政状態計算書の分析

< 中略 >

純損益を通じて公正価値で測定するもの以外の有価証券の発行額は、合計1,215億ユーロで、前年度比4.6%減であった。債券が残高648億ユーロでこの大半を占め、銀行間市場証券と譲渡性負債証券（494億ユーロ）がこれに続いた。残りは、譲渡性預金証書及び関連する債務で構成されている。

< 中略 >

2.1.3 連結損益計算書の分析

< 中略 >

銀行業務純益（NBI）

< 中略 >

またNBIは、危機前の水準（2019年度の109億ユーロ）と比べて7%近く高かった。

< 中略 >

3 BFCMの活動及び親会社の業績

3.1 BFCMの事業活動

< 中略 >

中心的なリファイナンス機関

< 中略 >

2021年度のリファイナンス・プログラム

< 中略 >

- ・ クレディ・ミュチュエル住宅貸出金SFH：5月及び7月に完了した225億ユーロの10年及び7年満期債

< 後略 >

< 訂正後 >

1 2021年の経済環境及び規制環境

1.1 経済環境

2021年：インフレ及びパンデミックにもかかわらず回復を続ける

< 中略 >

ユーロ圏においては、年初は流行の再燃が顕著であり、各国が定めた健康上の制限によって成長が圧迫された。しかしながら、経済が徐々に再開し、特に家計消費に牽引された活動再開により春の終わりには楽観的な見方が戻った。ECBの超緩和的金融政策は、ユーロ圏の良好な資金調達環境の維持に大きく貢献した。これにより、連続する流行波にもかかわらず、国家は経済を支え続けることができた。ワクチン接種が進んだことで、年末にオミクロン変異種が出現したにもかかわらず、活動に対する流行の影響は今や減少しつつある。ただし、健康危機は引き続きインフレ圧力を悪化させている。その結果、ECBは、パンデミックに関連した資産購入プログラムを2022年に終了することを確認して、金融引き締めへ転じなければならなくなった。このことは、全体としてその動きが限定的なものに留まったとしても、欧州ソブリン金利の上昇をもたらした。欧州の株式市場は好調に推移し、特にCAC40は2021年に+29%の上昇を記録し、2021年末には過去最高の7,153ポイントに達した。

< 中略 >

1.2 規制環境

< 中略 >

気候リスク

< 中略 >

気候リスクの監視要件もタクソノミー規則の委任法の採択によって強化された。持続可能な経済活動に投資された銀行資産の割合を計算するグリーン・アセット・レシオ（GAR）という新たな比率と6つの持続可能性の基準に従った資産の分類は2022年から段階的に実施される。またこの規則は、2022年以降の報告要件も強化する。

< 中略 >

マネーロンダリング及びテロ資金供与防止（AML-CFT）

2021年1月6日法令は、AML-CFT及び資産凍結の観点から規制要件を強化するものである。この法令は、AML-CFTについての対策及び内部統制システムを増強すると共に関連する統制機能の独立性を高めている。

< 中略 >

ガバナンス

EBAは、内部ガバナンス、報酬政策並びに上級管理職及び主要な部門マネージャーの適性評価に関する主要ガイドラインのうち3つを改訂した。この最後の点については、ECBのフィット&プロパー指針及び質問票の改訂を伴って進められた。これらの変更は2021年12月31日に発効した。

< 中略 >

2 BFCMの活動及び連結業績

2.1 BFCMの活動及び業績 - 連結範囲

< 中略 >

2.1.2 連結財政状態計算書の分析

< 中略 >

償却原価で測定する負債証券の発行額は、合計1,215億ユーロで、前年度比4.6%減であった。債券が残高648億ユーロでこの大半を占め、銀行間市場証券と譲渡性負債証券（494億ユーロ）がこれに続いた。残りは、譲渡性預金証書及び関連する債務で構成されている。

< 中略 >

2.1.3 連結損益計算書の分析

< 中略 >

銀行業務純益 (NBI)

< 中略 >

またNBIは、危機前の水準 (2019年度の109億ユーロ) と比べて 9 %以上高かった。

< 中略 >

3 BFCMの活動及び親会社の業績

3.1 BFCMの事業活動

< 中略 >

中心的なリファイナンス機関

< 中略 >

2021年度のリファイナンス・プログラム

< 中略 >

- ・ クレディ・ミュチュエル住宅貸出金SFH：5月及び7月に完了した22.5億ユーロの10年及び7年超満期債

< 後略 >

4 【経営上の重要な契約等】

< 訂正前 >

BFCMは、その有価証券の発行に関連した債務の引受けができなくなるといった、BFCMの財政状態に影響を及ぼしうる重要な契約に過去2年間において署名していない。

< 訂正後 >

BFCMは、その有価証券の発行に関連した債務の返済義務を負うことができなくなるといった、BFCMの財政状態に影響を及ぼしうる重要な契約に過去2年間において署名していない。

第4【設備の状況】

2【主要な設備の状況】

<訂正前>

2021年12月31日現在のBFCMの主要な設備（フランス国内外における主要な支店及び連結子会社）は、以下のとおりである。

2021年12月31日現在

	事務所名	所在地	設備の内容	土地の帳簿 価額 (千ユーロ)	建物の帳簿 価額 (千ユーロ)	その他 有形資産の 帳簿価額 (千ユーロ)	従業員数
--	------	-----	-------	-----------------------	-----------------------	--------------------------------	------

<後略>

<訂正後>

2021年12月31日現在のBFCMの主要な設備（フランス国内外における主要な支店及び連結子会社）は、以下のとおりである。

2021年12月31日現在

	事務所名	所在地	設備の内容	土地の帳簿 価額 (千ユーロ)	建物の帳簿 価額 (千ユーロ)	その他 有形資産の 帳簿価額 (千ユーロ)	従業員数 (名)
--	------	-----	-------	-----------------------	-----------------------	--------------------------------	-------------

<後略>

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(5)【大株主の状況】

<訂正前>

<前略>

BFCMに対して支配権を行使している個人又は法人

2021年12月31日現在、CFCMIは、BFCMの92.28%を支配している。不適切な支配の防止策として、CFCMとBFCMとの間で行われる取引のすべては市場環境で行われることに留意されたい。

BFCMの取締役会会長はCFCMの取締役会会長であり、BFCMのCEOもCFCMのCEOである。

当行は支配権が濫用されるリスクはないと考えている。

<後略>

<訂正後>

<前略>

BFCMに対して支配権を行使している個人又は法人

2021年12月31日現在、CFCMIは、BFCMの92.98%を支配している。不適切な支配の防止策として、CFCMとBFCMとの間で行われる取引のすべては市場環境で行われることに留意されたい。

BFCMの取締役会会長はCFCMの取締役会会長であり、BFCMのCEOもCFCMのCEOである。

当行は支配権が濫用されるリスクはないと考えている。

<後略>

3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

コーポレート・ガバナンスの状況

<訂正前>

1 BFCM - コーポレート・ガバナンス報告書

1.1 はじめに

< 中略 >

「この通告には、ACPRが遵守する予定のEBA指針の項目（第1項～第162項、第164項～第171項、第174項～第176項、第178項～第207項）が記載されているため、ACPRは、上記の機関が当該項目の規定を遵守することを求める。

< 中略 >

またACPRは、適格性評価指針の第88項（b）に従って、ある関連機関が100%所有する関連機関の独立構成員及び投資会社の独立構成員に対し、Article 32(4)(a) of 指令2019/2034/EUの第32条第4項第a号に規定される基準又は指令2019/2034/EUの第32条第5項及び第6項に従って関連加盟国が定めた他の基準を遵守するよう要求しない予定である。」

< 中略 >

1.2 取締役会の業務の整備及び編成

1.2.1 取締役会の運営

< 中略 >

取締役の能力及び研修

< 中略 >

この計画の一環として、ストラスブール大学法学部政治科学・経営学科と協力して、「相互銀行取締役」学士号が創設された。この計画では、毎年、60～70名の選出された相互共済構成員から成る、均衡がとれ多様性に富んだ（性別、年齢集団、地理的区域、経験）クラスで、銀行の取締役としての法律上、規制上、戦略上及び相互共済の課題に関する研修を実施し、専門的状況及び取締役という役割の範囲内で、公認の学位を通じて、その専門性を認定することが可能となる。選出された相互共済構成員69名の最初の課程が2021年10月22日にスタートし、当該構成員は2022年5月24日に卒業予定である。

< 中略 >

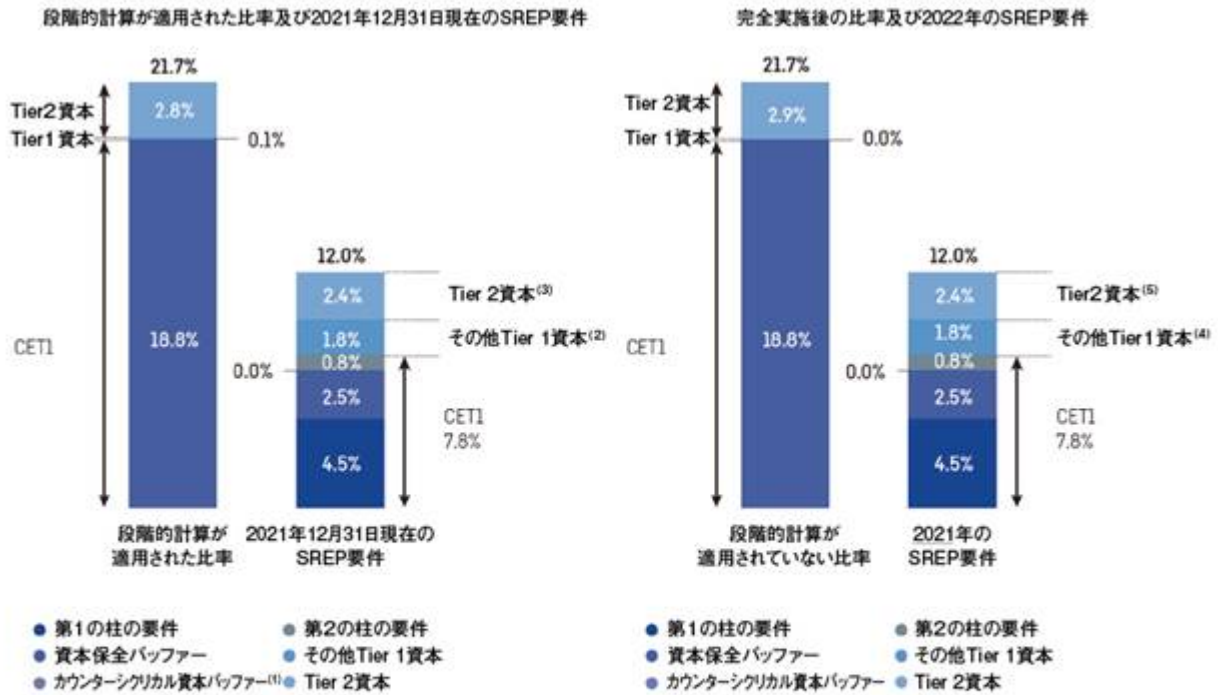
2 主要な数値

2.1 支払能力

支払能力比率

< 中略 >

グラフ3：規制要件及び支払能力比率



(1) HCSF、BaFin及びBNBの決定によると、COVID-19に関連する危機の結果、
 カウンターシクリカル銀行の資本バッファを完全に緩和することにした。
 (2) うち0.3%は第2の柱の要件によるもの。
 (3) うち0.4%は第2の柱の要件によるもの。

(4) うち0.3%は第2の柱の要件によるもの。
 (5) うち0.4%は第2の柱の要件によるもの。

< 中略 >

信用リスク

< 中略 >

表1：地域別のデフォルト時エクスポージャー（EAD）（金額）

< 中略 >

ウクライナ及びロシアへの注目

(百万ユーロ) 2021年12月31日現在	ウクライナ			ロシア		
	代替前EAD	預かり 保証金 ⁽¹⁾	EAD	代替前EAD	預かり 保証金	EAD
リテール顧客	5.1	-	5.1	24.6	-	24.6
企業	0.0	-	0.0	10.6	-	10.6
中央政府等及び中央銀行	87.1	51.0	36.1	-	-	-
機関（銀行）	0.4	-	0.4	15.3	-	15.3
株式	-	-	-	-	-	-
その他の資産	-	-	-	-	-	-
エクスポージャー合計⁽²⁾	92.7	51.0	41.7	50.5	-	50.5

(1) BPIフランスのカウンター・ギャランティー

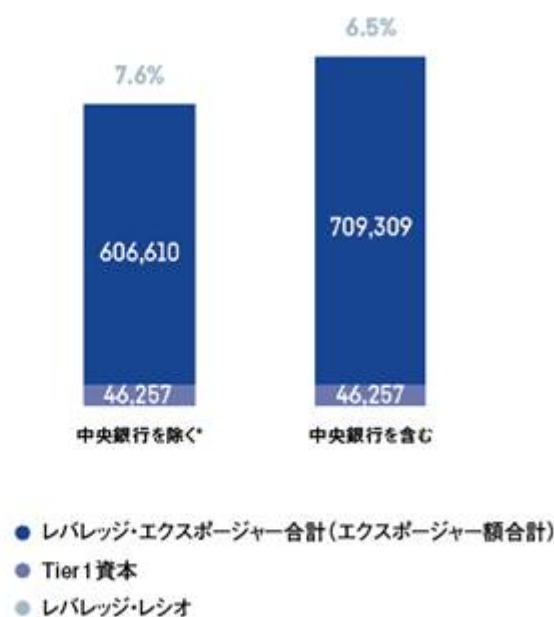
(2) この二カ国のエクスポージャーはクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのエクスポージャー合計の0.01%である。

< 中略 >

レバレッジ比率

グラフ11：段階的計算が適用されたレバレッジ比率

エクスポージャー及び株主資本合計(百万ユーロ)



* GCR2の第429条bisに従い、COVID-19パンデミックに関連する中央銀行のエクスポージャーの定期的な除外を含む。

< 中略 >

3 リスク管理 (EU OVA及びEU OVB)

3.1 リスク・プロファイル

< 中略 >

グループの戦略は、統制され持続可能で収益性の高い成長を促進する長期的な価値に基づいている。必要資本合計額に対する信用リスクの割合(2020年12月31日現在、90%)及びエクスポージャー合計額に対するリテール顧客の重要度からも明らかのように、リテール・バンキングがグループの中核事業となっている。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、主にフランス及び欧州内の近隣諸国(ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク、スイス及びスペイン)で営業を行っている。

< 中略 >

4 規制上の枠組の範囲 (EU LIA及びEU LIB)

< 中略 >

表4：エクスポージャーの帳簿価額と規制上の額との差額に関する主要な要因 (EU LI2)

(単位：百万ユーロ)	関与する項目合計	影響を受ける項目			
		信用リスク 枠組み	カウンター パーティー・ リスク枠組み (1)	証券化規定	市場リスク 枠組み
規制上の連結範囲の資産の簿価(表LI1も参照)	721,637	679,745	18,441	6,634	16,817
規制上の連結範囲の負債及び持分の簿価(表LI1も参照)	22,646	421	10,246	-	11,978
	-	-	-	-	-
規制上の連結範囲(純額)合計	698,990	679,323	8,195	6,634	4,839
オフ・バランスシート・コミットメント	158,551	158,551	-	-	-
オフ・バランスシートの評価の相違	-112,025	-112,185	-	160	-
評価の相違	2,989	-	2,989	-	-
項目2においてすでに考慮されているもの以外の相殺に関する規則の違いを要因とする差異 ⁽²⁾	1,073	-	-	-	1,073
引当金算入を要因とする差異	5,436	5,436	-	-	-
調整項目を要因とする差異	-	-	-	-	-
その他	-1,295	-1,295	-	-0	-
エクスポージャーの規制金額	753,720	729,831	11,183	6,794	5,912

(1) 公表されたデータは、デリバティブ及び買戻契約の資産と負債の正味価値と等しい。

(2) 相殺後の信用バランスは、カウンターパーティー・リスクから除外されている。

< 中略 >

5 自己資本

5.1 自己資本の構成

< 中略 >

表7：資本に関する詳細（EU CC1）

(単位：百万ユーロ)		2021年	2020年	レファレンス番号に 基づくソース / 規制 連結範囲に依拠する 貸借対照表の番号
		12月31日 現在	12月31日 現在	
< 中略 >				

52	金融機関による自己のAT1商品及び劣後ローンの直接的又は間接的保有 (マイナスの金額)	-10	-	-
----	--	-----	---	---

< 中略 >

6 健全性測定基準

< 中略 >

6.4 レバレッジ比率（EU LRA）

< 中略 >

表17：レバレッジ比率 - 共同報告書（EU LR2-LRCOM）

レバレッジ比率を構成する主な項目

(単位：百万ユーロ)		2021年	2020年
		12月31日現在の エクスポージャー	12月31日現在の エクスポージャー
< 中略 >			

9	SA-CRRデリバティブ取引に伴い将来発生し得るエクスポージャーへの追加額	2,988	2,699
---	---------------------------------------	-------	-------

< 中略 >

EU-22a	(CRR第429e条第1項(c)に基づきエクスポージャー額合計から除外されたエクスポージャー額)	-17,143	0
EU-22b	(CRR第429e条第1項(j)に基づき除外されたエクスポージャー額 - オン・バランスシート及びオフ・バランスシート)	-134,724	-110,962

< 中略 >

7 自己資本規制（EU OVC）

< 中略 >

7.1 ガバナンス及び手法

< 中略 >

測定された影響は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの経済的価値よりも会計上の数値及び健全性に関する数値に焦点を当てている（EBA/CP/2016/10、第6.1節、第29条d）。その結果は、中心シナリオ及びストレス状況下での3年間の自己資本及びリスク予測（EBA/CP/20165/10、第6.1節、第29条e）に組み込まれている。

< 中略 >

8 信用リスク

< 中略 >

8.3 資産の信用度

< 中略 >

8.3.4 健康危機の状況において法的支払猶予の対象となるエクスポージャー

< 中略 >

[次へ](#)

表22：法的支払猶予及び非法的支払猶予の対象となる貸出金及び前渡金の残存満期別の金額

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	債務者の数	簿価総額							
		うち： 立法府による支 払猶予の対象	うち： 支払猶予が終 了したもの	支払猶予の残存満期					1年超
				3ヶ月以内	3ヶ月超 6ヶ月以内	6ヶ月超 9ヶ月以内	9ヶ月超 12ヶ月以内	9ヶ月超	
支払猶予が呈示された貸出金及び前渡金	423,121	42,479	-	-	-	-	-	-	-
支払猶予が付与された貸出金及び前渡金	423,086	42,479	1,055	42,437	2	40	-	-	-
うち：世帯	-	1,149	1,042	1,109	1	40	-	-	-
うち：住宅用不動産に担保された貸出金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち：非金融企業	-	41,214	13	41,213	1	-	-	-	-
うち：中小企業	-	36,852	13	36,850	1	-	-	-	-
うち：商業用不動産に担保された貸出金	-	778	-	778	-	-	-	-	-

< 中略 >

[次へ](#)

8.3.5 条件変更されたエクスポージャー (EU CRB-d)

< 中略 >

表23：オン・バランスシート及びオフ・バランスシートのエクスポージャー純額の満期 (EU CR1-A)

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	エクスポージャーの正味価額					
	オンデマンド	1年以上	1年未満 5年以上	5年未満	満期不明	合計
貸出金及び前渡金	227,309	82,888	197,723	244,244	12,414	764,578
負債証券	774	3,300	13,310	10,639	14,193	42,217
合計	228,083	86,189	211,033	254,883	26,606	806,795

CMNEの内訳はクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルと類似の内訳となっている。

< 中略 >

[次へ](#)

表25：超過期限別の正常エクスポージャー及び不良エクスポージャーの信用度（EUCQ3）

	簿価 / 額面価格														
	正常貸出金				不良債権										
	期限を超過していないもの		超過が30日超又は超過が30日以内のもの		期限を超過している可能性のあるもの			超過が90日超又は超過が90日以内のもの		超過が180日超又は超過が1年以内のもの		超過が1年超又は超過が5年以上のもの		超過が5年未満又は超過が7年以上のもの	うち債務不履行となったもの
(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在															

< 中略 >

[次へ](#)

8.5 内部格付システム (EU CRE)

< 中略 >

8.5.4 恒久的かつ定期的な管理

クレディ・ミュチュエル・グループのパーゼル規制恒久的管理計画は、2つのレベルで構成されている。国家レベルでのモデル検証機能は、一方では新しいモデルの検証や現行モデルに対する大幅な調整、他方では内部格付手法、とりわけパラメータに対する継続的な監視に関与している。地域レベルでは、CNCMの恒久的管理の役割はクレディ・ミュチュエルのあらゆる恒久的管理機能をグループ全体で主導、調整及び標準化することである。恒久的管理によって、内部格付手法の全般的な適合性、格付の付与及び算定に関する業務上の側面、内部格付手法に直接的に関連する信用リスク管理手続、データの質が統制されている。

< 中略 >

9 カウンターパーティー・リスク (EU CCRA)

CCRに関する定性的情報の開示要件

< 中略 >

表42：手法別のCCRエクスポージャー分析 (EU CCR1)

(単位:百万ユーロ) 2021年12月31日現在	再調達コスト (RC)	将来発生し 得るエク スポー ジャー (PFE)	EEPE	規制エ ク ス ポ ー ジ ャ ー の 算 出 に 使 用 さ れ る ア ル フ ァ ・ フ ァ ク タ ー	CRM前のバ リュ ー ・ ア ット ・ リ ス ク	CRM後のバ リュ ー ・ ア ット ・ リ ス ク	バ リュ ー ・ ア ット ・ リ ス ク	リス ク 加 重 エ ク ス ポ ー ジ ャ ー 額 (RWEA)
< 中略 >								
金融担保に基づく単純な方法 (SFT向け)	-	-	-	-				

< 中略 >

金融担保に基づく単純な方法 (SFT向け)

-	-	-	-				
---	---	---	---	--	--	--	--

< 中略 >

10 信用リスクの緩和手法 (EU CRC)

< 中略 >

10.4 保護提供者の主要なカテゴリー

< 中略 >

[次へ](#)

表52：IRBA手法に基づく担保付エクスポージャー（EU CCR7-A）

	エクスポージャー合計	信用リスクの緩和手法									リスク加重資産の算出における信用リスクの緩和手法	
		積立型信用プロテクション ⁽¹⁾						非積立型信用プロテクション				
		金融保証にカバーされた部分(%)	その他の担保にカバーされた部分(%)			その他の方法による信用プロテクションにカバーされた部分(%)			保証によりカバーされた部分(%)	信用デリバティブにヘッジされた部分(%)	代替効果を除いたリスク加重資産	代替効果を含めたリスク加重資産
うち不動産担保	うち回収予定の債権		うちその他の担保	うち現金預金	うち保険契約	うち第三者が保有する金融商品						
(単位：百万ユーロ) 2021年 12月31日現在												

< 中略 >

[次へ](#)

13. 資産負債管理（ALM）リスク

< 中略 >

13.2 金利リスク管理（EU IRRBBA）

< 中略 >

13.2.2 測定及び監視システム並びにヘッジ手続

< 中略 >

その他の金利シナリオは、以下のとおりである。

標準化された金利ショック

- S1参考シナリオ： 利回り曲線で100ベース・ポイント増加（制限 / 警告閾値に使用）
- S2参考シナリオ： 利回り曲線で100ベース・ポイント減少。下限金利なし（制限 / 警告閾値に使用）
- S3シナリオ： 利回り曲線で200ベース・ポイント増加
- S4シナリオ： 利回り曲線で200ベース・ポイント減少。 - 1%（スポット・レート）から 0%（20年レート）までの段階的下限金利

< 中略 >

13.2.3 規制指標

< 中略 >

表63：バンキング勘定における金利リスク（EU IRRBB1）

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	EVE		NII	
	2021年 12月31日現在	2020年 12月31日現在	2021年 12月31日現在	2020年 12月31日現在
イールドカーブのスフォープ化	400	1,882	-	-

< 中略 >

< 中略 >

13.3 流動性リスク管理（EU LIQA）

< 中略 >

13.3.5 規制上の指標及び流動性準備金

< 中略 >

[次へ](#)

表64：短期流動性カバレッジ比率 - LCR (EU LIQ1)

連結の範囲：2021年12月31日現在 (単位：百万ユーロ) 四半期末日：	リスク加重されていない価値の合計				リスク加重された価値の合計			
	2021年 3月31日 現在	2021年 6月30日 現在	2021年 9月30日 現在	2021年 12月31日 現在	2021年 3月31日 現在	2021年 6月30日 現在	2021年 9月30日 現在	2021年 12月31日 現在

< 中略 >

5	担保されていないホールセール資金	121,498	125,053	126,465	128,309	65,089	66,844	67,400	68,420
6	オペレーショナル預金	22,588	22,030	21,928	21,977	5,464	5,343	5,334	5,352
7	非オペレーショナル預金(全てのカウンターパーティー) 及び共同銀行ネットワーク内の預金	90,100	94,014	95,993	98,006	50,814	52,492	53,522	54,742

< 中略 >

EU-19a	キャッシュ流入とキャッシュ流出との差額合計					0	0	0	0
--------	-----------------------	--	--	--	--	---	---	---	---

< 中略 >

連結の範囲：2020年12月31日現在 (単位：百万ユーロ) 四半期末日：	リスク加重されていない価値の合計				リスク加重された価値の合計			
	2020年 3月31日 現在	2020年 6月30日 現在	2020年 9月30日 現在	2020年 12月31日 現在	2020年 3月31日 現在	2020年 6月30日 現在	2020年 9月30日 現在	2020年 12月31日 現在

< 中略 >

5	担保されていないホールセール資金	97,253	103,131	109,307	115,940	53,011	56,198	59,115	62,555
---	------------------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------

< 中略 >

EU-19a	キャッシュ流入とキャッシュ流出との差額合計					0	0	0	0
--------	-----------------------	--	--	--	--	---	---	---	---

< 中略 >

[次へ](#)

表67：純安定調達比率 - NSFR (EU LIQ2)

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	残存機関別の加重されていない価値				加重された 価値
	満期なし	6ヶ月 未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上	
< 中略 >					
利用可能な安定調達額合計	-	-	-	-	492,874
< 中略 >					
信用リスクに関する標準化されたバーゼル アプローチに基づく35%のリスク加重	-	1,993	1,623	3,605	9,170
正常な住宅ローン、うち：	-	9,156	8,220	181,847	140,911
信用リスクに関する標準化されたバーゼル アプローチに基づく35%のリスク加重	-	6,131	5,154	111,735	78,270

< 中略 >

18 報酬 (EU OVB及びEU REMA)

18.1 管理機能

< 中略 >

経営体の構成員の選定のための採用方針並びに当該構成員の知見、技能及び専門知識に関する情報

< 中略 >

フランス通貨金融法典第511-91条に従って、2018年1月1日より、指名委員会には、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルが指名権を委任したクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのフランス国内外の事業体に参加している。CFCMの取締役会の内部規則に添付される指名委員会に関する別紙及びフランス通貨金融法典の規定に従って、指名委員会は、取締役及び執行役員の候補者の訓練、経験、能力、対応可能性及び信用を調査し、業務遂行に必要な適性を常に備えているか確認する。さらに、指名委員会は、定期的に、CFCMについては少なくとも年1回、取締役会の体制、規模、構成及び実効性を、取締役会の使命並びに構成員全体及び個人の知見、技能及び専門知識の観点から評価している。

取締役の多様性

男女比の均衡

CFCMにはコペ - ジンメルマン法 (Copé-Zimmermann Law) (2011年1月27日法律第2011-103号、2014年改正) が適用されており、CFCMは同法に従って、2017年度に7名の女性取締役を指名し、2018年度に2名の女性取締役を指名した。

< 後略 >

< 訂正後 >

1 BFCM - コーポレート・ガバナンス報告書

1.1 はじめに

< 中略 >

「この通告には、ACPRが遵守する予定のEBA指針の項目 (第1項 ~ 第162項、第164項 ~ 第171項、第174項 ~ 第176項、第178項 ~ 第207項) が記載されているため、ACPRは、上記の機関が当該項目の規定を遵守することを求める。

< 中略 >

またACPRは、適格性評価指針の第88項 (b) に従って、ある関連機関が100%所有する関連機関の独立構成員及び投資会社の独立構成員に対し、指令2019/2034/EUの第32条第4項第a号に規定される基準又は指令2019/2034/EUの第32条第5項及び第6項に従って関連加盟国が定めた他の基準を遵守するよう要求しない予定である。」

< 中略 >

1.2 取締役会の業務の整備及び編成

1.2.1 取締役会の運営

< 中略 >

取締役の能力及び研修

< 中略 >

この計画の一環として、ストラスブール大学法学部政治科学・経営学科と協力して、「相互銀行取締役」学士号が2021年に創設された。この計画では、毎年、60～70名の選出された相互共済構成員から成る、均衡がとれ多様性に富んだ（性別、年齢集団、地理的区域、経験）クラスで、銀行の取締役としての法律上、規制上、戦略上及び相互共済の課題に関する研修を実施し、専門的状況及び取締役という役割の範囲内で、公認の学位を通じて、その専門性を認定することが可能となる。選出された相互共済構成員69名の最初の課程が2021年10月22日にスタートし、当該構成員は2022年5月24日に卒業予定である。

< 中略 >

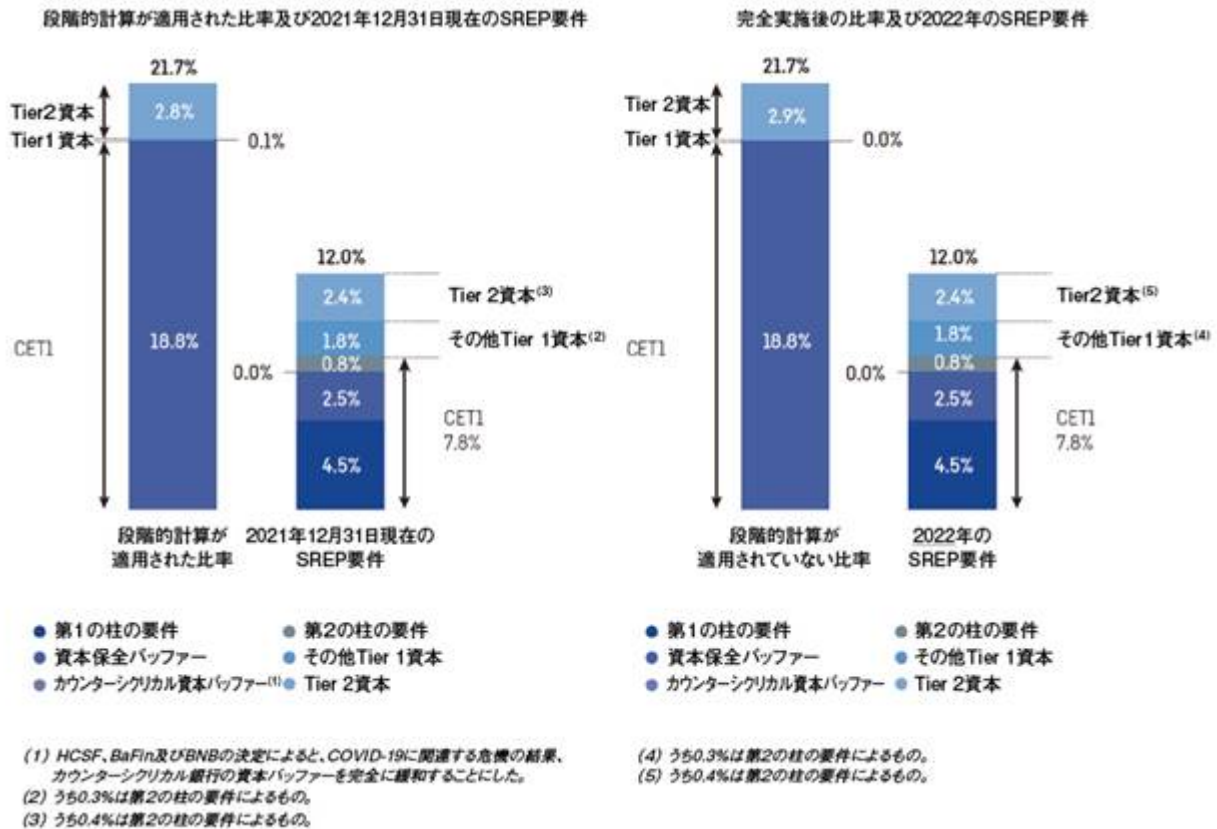
2 主要な数値

2.1 支払能力

支払能力比率

< 中略 >

グラフ 3：規制要件及び支払能力比率



< 中略 >

信用リスク

< 中略 >

表 1：地域別のデフォルト時エクスポージャー（EAD）（金額）

< 中略 >

ウクライナ及びロシアへの注目

(百万ユーロ) 2021年12月31日現在	ウクライナ			ロシア		
	代替前EAD	預かり 保証金 ⁽¹⁾	EAD	代替前EAD	預かり 保証金	EAD
リテール顧客	5.1	-	5.1	24.6	-	24.6
企業	0.0	-	0.0	10.6	-	10.6
中央政府等及び中央銀行	87.1	51.0	36.1	-	-	-
機関（銀行）	0.4	-	0.4	15.3	-	15.3
株式	-	-	-	-	-	-
その他の資産	-	-	-	-	-	-
エクスポージャー合計⁽²⁾	92.7	51.0	41.7	50.5	-	50.5

(1) BPIフランスのカウンター・ギャランティ

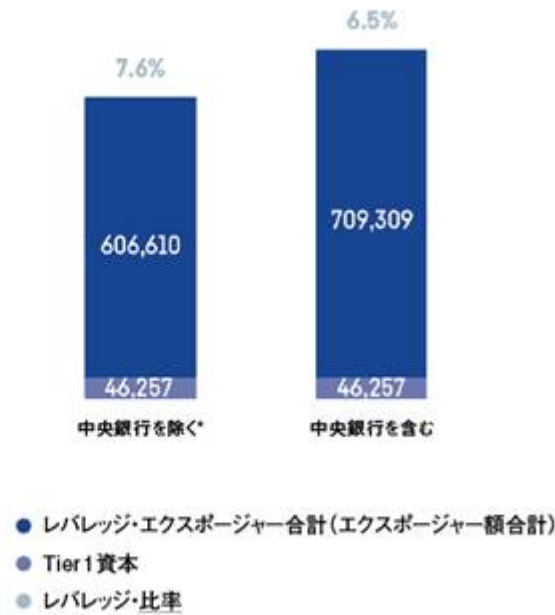
(2) この二カ国のエクスポージャーはクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのエクスポージャー合計の約0.01%である。

< 中略 >

レバレッジ比率

グラフ11：段階的計算が適用されたレバレッジ比率

エクスポージャー及び株主資本合計(百万ユーロ)



* CCR2の第429条bisに従い、COVID-19パンデミックに関連する中央銀行のエクスポージャーの定期的な除外を含む。

< 中略 >

3 リスク管理 (EU OVA及びEU OVB)

3.1 リスク・プロファイル

< 中略 >

グループの戦略は、統制され持続可能で収益性の高い成長を促進する長期的な価値に基づいている。必要資本合計額に対する信用リスクの割合（2020年12月31日現在、90%）及びエクスポージャー合計額に対するリテール顧客の重要度からも明らかのように、リテール・バンキングがグループの中核事業となっている。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、主にフランス及び欧州内の近隣諸国（ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク、スイス及びスペイン）で営業を行っている。

< 中略 >

4 規制上の枠組の範囲 (EU LIA及びEU LIB)

< 中略 >

表4：エクスポージャーの帳簿価額と規制上の額との差額に関する主要な要因 (EU LI2)

(単位：百万ユーロ)	関与する項目合計	影響を受ける項目			
		信用リスク 枠組み	カウンター パーティー・ リスク枠組み (1)	証券化規定	市場リスク 枠組み
規制上の連結範囲の資産の簿価 (表LI1も参照)	721,637	679,745	18,441	6,634	16,817
規制上の連結範囲の負債及び持分の簿価 (表LI1も参照)	22,646	421	10,246	-	11,978
	-	-	-	-	-
規制上の連結範囲(純額)合計	698,990	679,323	8,195	6,634	4,839
オフ・バランスシート・コミットメント	158,551	158,551	-	-	-
オフ・バランスシートの評価の相違	-112,025	-112,185	-	160	-
評価の相違	2,989	-	2,989	-	-
項目2においてすでに考慮されているもの以外の相殺に関する規則の違いを要因とする差異 ⁽²⁾	1,073	-	-	-	1,073
引当金算入を要因とする差異	5,436	5,436	-	-	-
調整項目を要因とする差異	-	-	-	-	-
その他	-1,295	-1,295	-	-0	-
エクスポージャーの規制金額	753,720	729,831	11,183	6,794	5,912

(1) 公表されたデータは、デリバティブ及び買戻契約の資産と負債の正味価値と等しい。

(2) 相殺後の信用バランスは、カウンターパーティー・リスクから除外されている。

規制上の連結貸借対照表の純帳簿価額とエクスポージャーの規制上の価額との差額は、オフバランスシート項目の帳簿価額における評価差額を控除したオフバランスのコミットメントに関連している。

< 中略 >

5 自己資本

5.1 自己資本の構成

< 中略 >

表7：資本に関する詳細（EU CC1）

(単位：百万ユーロ)		2021年 12月31日 現在	2020年 12月31日 現在	レファレンス番号に 基づくソース / 規制 連結範囲に依拠する 貸借対照表の番号
------------	--	-----------------------	-----------------------	---

< 中略 >

52	金融機関による自己のT2商品及び劣後ローンの直接的又は間接的保有 (マイナスの金額)	-10	-	-
----	---	-----	---	---

< 中略 >

6 健全性測定基準

< 中略 >

6.4 レバレッジ比率（EU LRA）

< 中略 >

表17：レバレッジ比率 - 共同報告書（EU LR2-LRCOM）

レバレッジ比率を構成する主な項目

(単位：百万ユーロ)		2021年 12月31日現在の エクスポージャー	2020年 12月31日現在の エクスポージャー
------------	--	--------------------------------	--------------------------------

< 中略 >

9	SA-CCRデリバティブ取引に伴い将来発生し得るエクスポージャーへの追加額	2,988	2,699
---	---------------------------------------	-------	-------

< 中略 >

EU-22a	(CRR第429a条第1項(c)に基づきエクスポージャー額合計から除外されたエクスポージャー額)	-17,143	0
EU-22b	(CRR第429a条第1項(j)に基づき除外されたエクスポージャー額 - オン・バランスシート及びオフ・バランスシート)	-134,724	-110,962

< 中略 >

7 自己資本規制（EU OVC）

< 中略 >

7.1 ガバナンス及び手法

< 中略 >

測定された影響は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの経済的価値よりも会計上の数値及び健全性に関する数値に焦点を当てている（EBA/CP/2016/10、第6.1節、第29条d）。その結果は、中心シナリオ及びストレス状況下での3年間の自己資本及びリスク予測（EBA/CP/2016/10、第6.1節、第29条e）に組み込まれている。

< 中略 >

8 信用リスク

< 中略 >

8.3 資産の信用度

< 中略 >

8.3.4 健康危機の状況において法的支払猶予の対象となるエクスポージャー

< 中略 >

[次へ](#)

表22：法的支払猶予及び非法的支払猶予の対象となる貸出金及び前渡金の残存満期別の金額

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	債務者 の数	簿価総額							
		うち： 立法府による支 払猶予の対象	うち： 支払猶予が終 了したもの	支払猶予の残存満期					1年超
				3ヶ月以内	3ヶ月超 6ヶ月以内	6ヶ月超 9ヶ月以内	9ヶ月超 12ヶ月以内		
支払猶予が呈示された貸出金及び前渡金	423,121	42,479	-	-	-	-	-	-	-
支払猶予が付与された貸出金及び前渡金	423,086	42,479	1,055	42,437	2	40	-	-	-
うち：世帯	-	1,149	1,042	1,109	1	40	-	-	-
うち：住宅用不動産に担保された貸出金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち：非金融企業	-	41,214	13	41,213	1	-	-	-	-
うち：中小企業	-	36,852	13	36,850	1	-	-	-	-
うち：商業用不動産に担保された貸出金	-	778	-	778	-	-	-	-	-

2021年12月31日現在のCMNEの支払猶予に関する貸出金及び前渡金はクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの類似の金額の1%を占めている。

< 中略 >

[次へ](#)

8.3.5 条件変更されたエクスポージャー (EU CRB-d)

< 中略 >

表23：オン・バランスシート及びオフ・バランスシートのエクスポージャー純額の満期 (EU CR1-A)

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	エクスポージャーの正味価額					合計
	オンデマンド	1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期不明	
貸出金及び前渡金	227,309	82,888	197,723	244,244	12,414	764,578
負債証券	774	3,300	13,310	10,639	14,193	42,217
合計	228,083	86,189	211,033	254,883	26,606	806,795

CMNEの内訳はクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルと類似の内訳となっている。

< 中略 >

[次へ](#)

表25：超過期限別の正常エクスポージャー及び不良エクスポージャーの信用度（EUCQ3）

		簿価 / 額面価格																
		正常貸出金				不良債権												
(単位：百万ユーロ)		期限を超過していないもの		超過が30日超30日以内のもの		期限を超過している可能性のあるもの		超過が90日超180日以内のもの		超過が180日超1年以内のもの		超過が1年超5年以内のもの		超過が5年超7年以内のもの		超過が7年超のもの		うち債務不履行となったもの
		2021年12月31日現在																

< 中略 >

[次へ](#)

8.5 内部格付システム (EU CRE)

< 中略 >

8.5.4 恒久的かつ定期的な管理

クレディ・ミュチュエル・グループのパーゼル規制恒久的管理計画は、2つのレベルで構成されている。国家レベルでのモデル検証機能は、一方では新しいモデルの検証や現行モデルに対する大幅な調整、他方では内部格付手法、とりわけパラメータに対する継続的な監視に関与している。地域レベルでは、CNCMの恒久的管理の役割はクレディ・ミュチュエルのあらゆる恒久的管理機能をグループ全体で主導、調整及び標準化することである。恒久的管理によって、内部格付手法の全般的な適合性、格付の付与及び算定に関する業務上の側面、内部格付手法に直接的に関連する信用リスク管理手続、データの質が統制されている。

< 中略 >

9 カウンターパーティー・リスク (EU CCRA)

CCRに関する定性的情報の開示要件

< 中略 >

表42：手法別のCCRエクスポージャー分析 (EU CCR1)

(単位:百万ユーロ) 2021年12月31日現在	再調達コスト (RC)	将来発生し得るエクスポージャー (PFE)	EEPE	規制エクスポージャーの算出に使用されるアルファ・ファクター	CRM前のバリュエーション・リスク	CRM後のバリュエーション・リスク	バリュエーション・リスク	リスク加重エクスポージャー額 (RWEA)
< 中略 >								
金融担保に基づく単純な方法 (OFT向け)	-	-	-	-				

< 中略 >

10 信用リスクの緩和手法 (EU CRC)

< 中略 >

10.4 保護提供者の主要なカテゴリー

< 中略 >

[次へ](#)

表52：IRBA手法に基づく担保付エクスポージャー（EU CCR7-A）

	エクスポージャー合計	信用リスクの緩和手法									リスク加重資産の算出における信用リスクの緩和手法	
		積立型信用プロテクション ⁽¹⁾						非積立型信用プロテクション ⁽¹⁾				
		金融保証にカバーされた部分(%)	その他の担保にカバーされた部分(%)			その他の方法による信用プロテクションにカバーされた部分(%)			保証によりカバーされた部分(%)	信用デリバティブにヘッジされた部分(%)	代替効果を除いたリスク加重資産	代替効果を含めたリスク加重資産
うち不動産担保	うち回収予定の債権		うちその他の担保	うち現金預金	うち保険契約	うち第三者が保有する金融商品						
(単位：百万ユーロ) 2021年 12月31日現在												

< 中略 >

[次へ](#)

13. 資産負債管理 (ALM) リスク

< 中略 >

13.2 金利リスク管理 (EU IRRBBA)

< 中略 >

13.2.2 測定及び監視システム並びにヘッジ手続

< 中略 >

その他の金利シナリオは、以下のとおりである。

標準化された金利ショック

- S1参考シナリオ： 利回り曲線で100ベース・ポイント増加（制限 / 警告閾値に使用）
- S2参考シナリオ： 利回り曲線で100ベース・ポイント減少。下限金利なし（制限 / 警告閾値に使用）
- S3シナリオ： 利回り曲線で200ベース・ポイント増加
- S4シナリオ： 利回り曲線で200ベース・ポイント減少。 - 1%（スポット・レート）から 0%（20年レート）までの段階的下限金利

ストレス・シナリオ

- S5シナリオ： 2年間にわたり6ヶ月ごとに短期金利が50ベース・ポイント増加した（200ベース・ポイントの累積ショック）ことにより、利回り曲線が平坦化 / 反転。
- S6シナリオ： 規制金利が著しく高い水準を保つとともに、短期及び長期金利が継続的に下落。

流動性ギャップの資金調達に関して2つのシナリオが検討される。

- 3ヶ月Euriborの100%ヘッジ
- 株式のポジションの明確な指標化（維持される短期金利での指数化）、新規事業によりもたらされるポジション（潜在的なポジションの本来の特性に基づく）の明確な指標化に基づき関連するシナリオ（金利の非線形的、非進行的展開のシナリオ）に適用される代替的資金調達

2021年12月31日現在、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル及びBFCMグループの銀行勘定の純利息収益は、上記参考シナリオ（シナリオ2）によれば、金利の下落に対して1年間及び2年間のエクスポージャーにさらされていた。

これら2つの連結の範囲について、金利感応度は以下のとおりである。

- クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルについては、金利の下落に対する感応度は1年間では+0.02%（絶対値で+2.91百万ユーロ）、2年間では-1.39%（-182.3百万ユーロ）であり、リスク制限を遵守している。
- BFCMグループについては、感応度は1年間では-44.2百万ユーロ（NBIに占める割合で-0.46%）、2年間では-93.2百万ユーロ（NBIに占める割合で-0.97%）であった。

< 中略 >

13.2.3 規制指標

< 中略 >

表63：バンキング勘定における金利リスク (EU IRRB1)

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	EVE		NII	
	2021年 12月31日現在	2020年 12月31日現在	2021年 12月31日現在	2020年 12月31日現在
イールドカーブのスロープ化	400	1,882	-	-

< 中略 >

13.3 流動性リスク管理 (EU LIQA)

< 中略 >

13.3.5 規制上の指標及び流動性準備金

< 中略 >

[次へ](#)

表64：短期流動性カバレッジ比率 - LCR (EU LIQ1)

連結の範囲：2021年12月31日現在 (単位：百万ユーロ) 四半期末日：	リスク加重されていない価値の合計				リスク加重された価値の合計			
	2021年 3月31日 現在	2021年 6月30日 現在	2021年 9月30日 現在	2021年 12月31日 現在	2021年 3月31日 現在	2021年 6月30日 現在	2021年 9月30日 現在	2021年 12月31日 現在

< 中略 >

5	担保されていないホールセール資金、うち： オペレーショナル預金(全てのカウンターパーティー)及 び共同銀行ネットワーク内の預金	121,498	125,053	126,465	128,309	65,089	66,844	67,400	68,420
6		22,588	22,030	21,928	21,977	5,464	5,343	5,334	5,352
7	非オペレーショナル預金(全てのカウンターパーティー)	90,100	94,014	95,993	98,006	50,814	52,492	53,522	54,742

< 中略 >

EU-19a	キャッシュ流入合計とキャッシュ流出合計との差額					0	0	0	0
--------	-------------------------	--	--	--	--	---	---	---	---

< 中略 >

連結の範囲：2020年12月31日現在 (単位：百万ユーロ) 四半期末日：	リスク加重されていない価値の合計				リスク加重された価値の合計			
	2020年 3月31日 現在	2020年 6月30日 現在	2020年 9月30日 現在	2020年 12月31日 現在	2020年 3月31日 現在	2020年 6月30日 現在	2020年 9月30日 現在	2020年 12月31日 現在

< 中略 >

5	担保されていないホールセール資金、うち：	97,253	103,131	109,307	115,940	53,011	56,198	59,115	62,555
---	----------------------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	--------	--------

< 中略 >

EU-19a	キャッシュ流入合計とキャッシュ流出合計との差額					0	0	0	0
--------	-------------------------	--	--	--	--	---	---	---	---

< 中略 >

表67：純安定調達比率 - NSFR (EU LIQ2)

(単位：百万ユーロ) 2021年12月31日現在	残存機関別の加重されていない価値				加重された 価値
	満期なし	6ヶ月 未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上	
< 中略 >					
利用可能な安定調達額合計	-	-	-	-	492,874
< 中略 >					
信用リスクに関する標準化されたバーゼル アプローチに基づく35%以下のリスク加 重	-	1,993	1,623	3,605	9,170
正常な住宅ローン、うち：	-	9,156	8,220	181,847	140,911
信用リスクに関する標準化されたバーゼル アプローチに基づく35%以下のリスク加 重	-	6,131	5,154	111,735	78,270

< 中略 >

18 報酬 (EU OVB及びEU REMA)

18.1 管理機能

< 中略 >

経営体の構成員の選定のための採用方針並びに当該構成員の知見、技能及び専門知識に関する情報

< 中略 >

フランス通貨金融法典第L.511-91条に従って、2018年1月1日より、指名委員会には、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルが指名権を委任したクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのフランス国内外の事業体が参加している。CFCMの取締役会の内部規則に添付される指名委員会に関する別紙及びフランス通貨金融法典の規定に従って、指名委員会は、取締役及び執行役員の候補者の訓練、経験、能力、対応可能性及び信用を調査し、業務遂行に必要な適性を常に備えているか確認する。さらに、指名委員会は、定期的に、CFCMについては少なくとも年1回、取締役会の体制、規模、構成及び実効性を、取締役会の使命並びに構成員全体及び個人の知見、技能及び専門知識の観点から評価している。

取締役の多様性

男女比の均衡

CFCMにはコペ - ジンメルマン法 (Copé-Zimmermann Law) (2011年1月27日法律第2011-103号、2014年改正) が適用されており、CFCMは同法に従って、2017年度に7名の女性取締役を指名し、2018年度に2名の女性取締役を指名した。

< 後略 >

社会的及び相互的責任

< 訂正前 >

< 前略 >

3 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの非財務リスク及び機会

< 中略 >

気候リスクの統合







< 中略 >

2019年度～2023年度の戦略計画における重大なESGリスク/目標を、ミッションを有する企業 (entreprise à mission) としてマッピングするとのコミットメント - 相互参照表

< 中略 >

分析グリッド

< 中略 >

「共に、耳を傾け、行動すること (ENSEMBLE, ÉCOUTER ET AGIR)」: SMRアプローチに関する 5つのミッション	重大なESGリスク	抱負— 目標	パフォーマンス指標
 <p>[環境目標] グループの環境負荷を低減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 規制リスク ■ 風評リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年度末までにグループの炭素排出量を20%削減し、当行の投資ポートフォリオのカーボンフットプリントを12%削減する。(コミットメント12— ミッション5) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社内のカーボンフットプリント → 目標: 冷媒ガスのエネルギー漏出、保有車両及び出張の範囲を対象とするグループの社内カーボンフットプリントを20%削減する。
 <p>[環境目標] ソリューション及び高品質な商品並びに責任あるサービスの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 規制リスク ■ 風評リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業向け保険ポートフォリオのカーボンフットプリントの削減 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業向け保険・資産管理ポートフォリオのカーボンフットプリント → 目標: 企業向け保険・資産管理ポートフォリオのカーボンフットプリントを12%削減する。
 <p>[環境目標] ソリューション及び高品質な商品並びに責任あるサービスの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務/気候リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな石油及びガス・プロジェクトへの融資を直ちに中止する。(コミットメント13— ミッション5) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ セクター別方針の対象となるエクスポージャーのモニタリング → 目標: 新たな石油及びガス・プロジェクトへの融資は行わない。石炭への融資から完全に撤退する。
 <p>[環境目標] ソリューション及び高品質な商品並びに責任あるサービスの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候リスク 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候リスクを含む国別エクスポージャー限度額を適用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国別限度額の四半期毎のモニタリング
 <p>[環境目標] ソリューション及び高品質な商品並びに責任あるサービスの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客を喪失するリスク 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2019年度～2023年度の間再生可能エネルギー融資を増加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト・ファイナンスを通じた再生可能エネルギーの累積認可残高の変化 → 目標: 2019年度～2023年度の間再生可能エネルギー融資を30%増加させる。
 <p>[構成員及び顧客目標] 金融包摂</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての顧客のための銀行となること: 脆弱な状態にある顧客の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 脆弱な顧客向け商品提供(OCF)の対応を受けた顧客の数 ■ 脆弱な顧客への対応について研修を受けた従業員の数 ■ 検知された顧客の数
 <p>[構成員及び顧客目標] 金融包摂</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療上の手続なしに得意客の住宅貸出金を保証⁽²⁾する。(コミットメント — 14ミッション5) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康質問票の廃止により利益を受けた顧客の数

(2) これは主要所得が7年間CICIに預けられている顧客のためのスケジュールである。付保対象額は借手1名当たり500,000ユーロを上限とし、保険契約者は引受時に62歳未満でなければならない。

< 中略 >

4 構成員及び顧客目標

< 中略 >

4.3 リスク管理

< 中略 >

腐敗防止体制の詳細

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、透明性、腐敗防止及び経済生活の近代化に係る2016年12月9日付法律第2016-1691号（「サパン2」法）（同法に基づいて多数の社内手続と特別措置が定められた。）に従って、腐敗の検知、予防及び防止のための体制を設けた。

- ・ 腐敗に関するリスクマッピング及び利益相反

< 中略 >

5 ガバナンス目標

< 中略 >

5.2 構成員の強化

< 中略 >

相互組織としての生活を奨励し、構成員間の交流を促進するため、2020度に、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、メンバー・アゴラ（Member Agora）を創設した。ソーシャルネットワークであり、協力的交流のプラットフォームであるメンバー・アゴラの主な目的は、以下のとおりである。

< 中略 >

6 企業目標

< 中略 >

6.2 責任ある関係性

< 中略 >

2021年度はCCSの供給業者（収益が5,000ユーロ超の供給業者）及び約210社のユーロ - アンフォルマシオンの供給業者（SOT100）（収益が1百万ユーロ超の供給業者）が、3,882件の憲章に署名した。

< 中略 >

7 社会目標

< 中略 >

7.5 雇用

< 中略 >

定量的データ

< 中略 >

労働時間別の構成

コード	指標名	2021年度末データ	2020年度末データ*
-----	-----	------------	-------------

< 中略 >

8 環境目標

8.1 グループの環境への直接及び間接的な影響の軽減

< 中略 >

当事業年度中継続した健康危機に関連する重点分野

パンデミックに関連して行ったりリモートワークの導入は、移動、保有車両、上流の輸送といった一定のカーボンフットプリント関連項目に重大な影響を与えた。フランス国内のクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結事業体のカーボンフットプリントは、2019年度から2020年度の間に全体で13%減少した。エネルギー項目は2019年度から2019年度の間に4%減少した。

< 中略 >

出張に関する方針

< 中略 >

こうした決定は、移動キロ数の削減を推進する社内の周知キャンペーン、とりわけ報告書の作成と出張制限の提言により支えられた。出張に関する方針は公共交通機関と車の相乗りを優先し、一定のグループの事業体に企業出張計画を導入することで自転車の利用を奨励している。また、飛行機による移動の利用制限を盛り込み、鉄道を利用することで、従業員の出張による環境負荷の低減を促している。鉄道で完結できる出張の場合、航空機による出張は出張予約プラットフォームでは利用できなくなっている。

炭素に係る拠出金に関する方針

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、その事業体に温室効果ガスの排出削減に取り組むこと奨励し、グループのカーボンフットプリントを相殺するメカニズムを開発することで好循環を作り出している。拠出金は、全事業体のカーボンフットプリントに応じて改善措置が実施可能な排出項目に基づいて計算される。これらの任意の拠出金は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル財団（2021初頭

に設立)に気候に大きな影響を及ぼすプロジェクトの融資等を目的とした資金を提供する。さらに、法人顧客、資産管理、保険のポートフォリオのカーボンフットプリントと連動した第2段階の拠出金がある。2021年度に、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル財団は、湿地及び高地の保護を目的とするプロジェクトの展開を通して、フランス・ネイチャー・エンバイロメント(France Nature Environnement)を支援した。

< 中略 >

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのカーボンフットプリント削減対策

ISO 50001認証

CCS事業分野の子会社により設定され、2020年12月にISO 50001の認証を受けたエネルギー管理システムは、2021年度に検証のための監査を受けた。この最新の監査の報告書は、認証の取得を確認し、多数の改善策、特にプロジェクトのモニタリングに特化したチームの連携強化が完了したことを証明している。

< 中略 >

分析方法

- ・ 対象は会社限定する(個人及びSCIsを除く。)
- ・ 除外：中央政府、地方機関、政府系機関、及び特別会社のプロジェクト・ファイナンス

< 中略 >

8.2 ソリューション及び高品質な商品並びに責任あるサービスの強化

< 中略 >

このため、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、2018年12月1日から、個人及びプロ向けのエコモビリティ・ローン販売している。その目的は、環境移行期(エコロジカル・トランジション)において顧客及び構成員を支援し、電気自動車又はハイブリッド車に対するそのニーズを満たすだけでなく、顧客及び構成員が電気自動車購入のための補助金(エコ奨励金及び/又は転換手当)の恩恵を得られるようにすることである。クレディ・ミュチュエル及びCICのネットワークは、商品提供の開始以来、126,000台のハイブリッド車及び/又は電気自動車若しくは低排出量車に関して融資を行ってきた。

< 中略 >

8.5 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのセクター別方針

< 中略 >

クレディ・ミュチュエル・アセット・マネジメント(エネルギー移行法に関する報告書)⁽¹⁾

< 中略 >

- ・ 第8条ファンド - クラスAMF 及び : 53,246百万ユーロ

< 中略 >

9 テクノロジー部門のCSR

< 中略 >

9.2 テクノロジー部門(ユーロ・アンフォルマシオン(EI))に関する特定の報告

< 中略 >

社会的及び環境的な問題が調達方針において考慮されていないという事実

< 中略 >

不動産へのアプローチにおけるエネルギー効率の最適化

ユーロ・アンフォルマシオンは、グループのエネルギー節減方針において一定の役割を果たしている。ユーロ・アンフォルマシオンは、CCSの監督の下、2020年度末に取得したISO 50001認証の対象範囲に含まれている。2019年度に開始されたこのプロジェクトは、銀行や支店、本社及びデータセンターを対象としており、ユーロ・アンフォルマシオンは本社及びデータセンターの範囲に関係している。

< 中略 >

グループが管理する要素である様々な「社会」、「ガバナンス」、「企業」のシナリオに加えて実施された活動

< 中略 >

障害者の受入れ

< 中略 >

また、ユーロ・アンフォルマシオンは、パートナーを通じて障害者の雇用を実現している。例えば、リヨンの拠点の廃棄物収集では、障害者を雇用する団体であるトリビュ(Tribü)とパートナーシップを締結している。2021年度中に、このパートナーシップは延長され、トリビュが収集する廃棄物の割合が増加した。

EISでのエコドライブ

< 中略 >

この2年間で0.2リットルの消費量の増加は、2018年以降メーカーが課したパートナーズのディーゼル・エンジン出力を75馬力から100馬力に引き上げたことと、消費量が1～2リットル多い208/パートナーズのガソリン車の導入が一因である。

< 中略 >

10 メディア部門のCSR方針

10.1 定量的データ

指標コード	指標名	表示単位	2021年度に収集された 定量データ
< 中略 >			
S0C82	利益分配及び利益参加によるボーナスを受け取った従業員の数	整数	2081

< 中略 >

11 注意義務計画

< 中略 >

11.3 注意義務計画における措置

< 中略 >

11.3.5 モニタリングの仕組み

< 中略 >

その他の指標（非網羅的なリスト）

供給業者憲章

2021年12月末現在、CCSの供給業者が3,882件、ユーロ・アンフォルマシオンの供給業者が200件超の憲章を締結している（S0T100）。

< 後略 >

< 訂正後 >

< 前略 >

3 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの非財務リスク及び機会

< 中略 >

気候リスクの統合

< 中略 >

2019年度～2023年度の戦略計画における重大なESGリスク/目標を、ミッションを有する企業（*entreprise à mission*）としてマッピングするとのコミットメント - 相互参照表

< 中略 >

分析グリッド

< 中略 >

「共に、耳を傾け、行動すること (ENSEMBLE, ECOUTER ET AGIR)」 : SMRアプローチに関する 5つのミッション	重大なESGRリスク	抱負— 目標	パフォーマンス指標
ミッション5 : 責任ある企業として、より 公正かつより持続可能な社会 に向けて積極的に取り組む。	■ 規制リスク ■ 風評リスク ■ 規制リスク ■ 風評リスク ■ 財務/気候リスク ■ 気候リスク	■ 2022年度末までにグループ の炭素排出量を20%削減 し、当行の投資ポートフォリオ のカーボンフットプリントを 12%削減する。(コミットメント12 — ミッション5) ■ 企業向け保険ポートフォリオの カーボンフットプリントの削減 ■ 新たな石油及びガス・プロ ジェクトへの融資を直ちに 中止する。(コミットメント13 — ミッション5) ■ 気候リスクを含む国別エク スポージャー限度額を適用する。	■ 社内のカーボンフットプリント → 目標 : 冷媒ガスのエネルギー 漏出、保有車両及び出張の範囲 を対象とするグループの社内カー ボンフットプリントを20%削減 する。 ■ 企業向け保険・資産管理ポート フォリオのカーボンフット プrint → 目標 : 企業向け保険・資産管理 ポートフォリオのカーボンフット プrintを12%削減する。 ■ セクター別方針の対象となるエク スポージャーのモニタリング → 目標 : 新たな石油及びガス・プロ ジェクトへの融資は行わない。石 炭への融資から完全に撤退する。 ■ 国別限度額の四半期毎のモニタ リング
[環境目標] グループの環境負荷を 低減する	■ 顧客を喪失するリスク	■ 2019年度～2023年度の間 に再生可能エネルギー融資 を増加させる。	■ プロジェクト・ファイナンスを通じ た再生可能エネルギーの累積 認可残高の変化 → 目標 : 2019年度～2023年度の 間に再生可能エネルギー融資を 30%増加させる。
[環境目標] ソリューション及び高品質な 商品並びに責任あるサービスの 強化 [構成員及び 顧客目標] 金融包摂		■ 全ての顧客のための銀行と なること : 脆弱な状態にある 顧客の支援 ■ 医療上の手続なしに得意客 の住宅貸出金を保証 ⁽²⁾ す る。(コミットメント14 — ミ ション5)	■ 脆弱な顧客向け商品提供 (OCF)の対応を受けた顧客の数 ■ 脆弱な顧客への対応について 研修を受けた従業員の数 ■ 接知された顧客の数 ■ 健康質問票の廃止により利益を 受けた顧客の数

(2) これは主要所得が7年間CICIに預けられている顧客のためのスケジュールである。付保対象額は借手1名当たり500,000ユーロを上限とし、保険契約者は引受時に62歳未満でなければならない。

< 中略 >

4 . 構成員及び顧客目標

< 中略 >

4.3 リスク管理

< 中略 >

腐敗防止体制の詳細

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、透明性、腐敗防止及び経済生活の近代化に係る2016年12月9日付法律第2016-1691号(「サパン2」法)(同法に基づいて多数の社内手続と特別措置が定められた。)に従って、腐敗の検知、予防及び防止のための体制を設けた。

- ・ 腐敗及び利益相反に関するリスクマッピング

< 中略 >

5 ガバナンス目標

< 中略 >

5.2 構成員の強化

< 中略 >

相互組織としての生活を奨励し、構成員間の交流を促進するため、2020年度に、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、メンバー・アゴラ（Member Agora）を創設した。ソーシャルネットワークであり、協力的交流のプラットフォームであるメンバー・アゴラの主な目的は、以下のとおりである。

< 中略 >

6 企業目標

< 中略 >

6.2 責任ある関係性

< 中略 >

2021年度は3,882社のCCSの供給業者（収益が5,000ユーロ超の供給業者）及び約210社のユーロ - アンフォールマシオンの供給業者（SOT100）（収益が1百万ユーロ超の供給業者）が、憲章に署名した。

< 中略 >

7 社会目標

< 中略 >

7.5 雇用

< 中略 >

定量的データ

< 中略 >

労働時間別の構成

コード	指標名	2021年度末データ*	2020年度末データ*
-----	-----	-------------	-------------

< 中略 >

8 環境目標

8.1 グループの環境への直接及び間接的な影響の軽減

< 中略 >

当事業年度中継続した健康危機に関連する重点分野

パンデミックに関連して行ったリモートワークの導入は、移動、保有車両、上流の輸送といった一定のカーボンフットプリント関連項目に重大な影響を与えた。フランス国内のクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結事業体のカーボンフットプリントは、2019年度から2020年度の間全体で13%減少した。エネルギー項目は2019年度から2020年度の間4%減少した。

< 中略 >

出張に関する方針

< 中略 >

こうした決定は、移動キロ数の削減を推進する社内の周知キャンペーン、とりわけ報告書の作成と出張制限の提言により支えられた。出張に関する方針は公共交通機関と車の相乗りを優先し、一定のグループの事業体に企業出張計画を導入することで自転車の利用を奨励している。また、飛行機による移動の利用制限を盛り込み、鉄道を利用することで、従業員の出張による環境負荷の低減を促している。鉄道で完結できる出張の場合、航空機による出張は出張予約プラットフォームでは利用できなくなっている。

2021年、フェデラシオン・クレディ・ミュチュエル・シュDEST(CMSE)の従業員は、個人の自動車利用ではなく、代替交通手段の促進を目指すモビリティ・チャレンジに参加した。この意識向上への取組みにより、フェデラシオン・CMSEはモビリティの面におけるベスト・プラクティスを推進している。従業員の46%がこのチャレンジに参加し、1,000キロ近くを車に代わる交通手段で移動した。

また、フェデラシオン・CMSEは、リヨンを拠点とするスタートアップ企業であるWECOUNTが立ち上げた第1回気候変動対策に参加し、温室効果ガス排出抑制に向けた挑戦へのコミットメントを支持することを決定した。

地元銀行6行が、専門家が出席するワークショップに参加し、出張の気候への影響を測定し、従業員へ推進する持続可能なモビリティ・ソリューションを特定した。

さらに、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、2020年に署名された仕事の質に関する枠組み合意により設定されたリモートワークの実施の一環として、従業員の持続可能なモビリティ・パッケージを導入した。このシステムは、モビリティ・ソリューション（個人用バイク、軽二輪車、電動スクーターのレンタル、乗用車の相乗り）をより広く選択し、個人の自動車利用ではなく代替交通手段を促進することで、通勤時の環境負荷を低減する。2021年には、2,859人にモビリティ・パッケージが支払われた。

炭素に係る拠出金に関する方針

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、その事業体に温室効果ガスの排出削減に取り組むことを奨励し、グループのカーボンフットプリントを相殺するメカニズムを開発することで好循環を作り出している。拠出金は、全事業体のカーボンフットプリントに応じて改善措置が実施可能な排出項目に基づいて計算される。これらの任意の拠出金は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル財団（2021初頭に設立）に気候に大きな影響を及ぼすプロジェクトの融資等を目的とした資金を提供する。さらに、法人顧客、資産管理、保険のポートフォリオのカーボンフットプリントと連動した第2段階の拠出金がある。2021年度に、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル財団は、湿地及び高地の保護を目的とするプロジェクトの展開を通して、フランス・ネイチャー・エンバイロメント（France Nature Environnement）を支援した。

< 中略 >

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのカーボンフットプリント削減対策

ISO 50001認証

CCS事業分野の子会社により設定され、2020年12月にISO 50001の認証を受けたエネルギー管理システムは、2021年10月に検証のための監査を受けた。この最新の監査の報告書は、認証の取得を確認し、多数の改善策、特にプロジェクトのモニタリングに特化したチームの連携強化が完了したことを証明している。

< 中略 >

分析方法

- ・ 対象は会社限定する（個人及びSCIsを除く。）。
・ 除外：中央政府、地方自治体、政府系機関、及び特別会社のプロジェクト・ファイナンス

< 中略 >

8.2 ソリューション及び高品質な商品並びに責任あるサービスの強化

< 中略 >

このため、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、2018年12月1日から、個人及びプロ向けのエコモビリティ・ローン販売している。その目的は、環境移行期（エコロジカル・トランジション）において顧客及び構成員を支援し、電気自動車又はハイブリッド車に対するそのニーズを満たすだけでなく、顧客及び構成員が電気自動車購入のための補助金（エコ奨励金及び/又は転換手当）の恩恵を得られるようにすることである。クレディ・ミュチュエル及びCICのネットワークは、商品提供の開始以来、126,000台超のハイブリッド車及び/又は電気自動車若しくは低排出量車に関して融資を行ってきた。

< 中略 >

8.5 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのセクター別方針

< 中略 >

クレディ・ミュチュエル・アセット・マネジメント（エネルギー移行法に関する報告書）⁽¹⁾

< 中略 >

- ・ 第8条ファンド - クラスAMF 及び : 53,264百万ユーロ

< 中略 >

9 テクノロジー部門のCSR

< 中略 >

9.2 テクノロジー部門（ユーロ - アンフォルマシオン（EI））に関する特定の報告

< 中略 >

社会的及び環境的な問題が調達方針において考慮されていないという事実

< 中略 >

不動産へのアプローチにおけるエネルギー効率の最適化

ユーロ - アンフォルマシオンは、グループのエネルギー節減方針において一定の役割を果たしている。ユーロ - アンフォルマシオンは、CCSの監督の下、2020年度末に取得したISO 50001認証の対象範囲に含まれている。2019年度に開始されたこのプロジェクトは、銀行や支店、本社及びデータセンターを対象としており、ユーロ - アンフォルマシオンは本社及びデータセンターの最後の2つの範囲に関係している。

< 中略 >

グループが管理する要素である様々な「社会」、「ガバナンス」、「企業」のシナリオに加えて実施された活動

< 中略 >

障害者の受入れ

< 中略 >

また、ユーロ - アンフォルマシオンは、パートナーを通じて障害者の雇用を実現している。例えば、リヨンの拠点の廃棄物収集では、障害者を雇用する団体であるトリビュ (Tribü) とパートナーシップを締結している。2021年度中に、このパートナーシップは延長され、トリビュが収集する廃棄物の割合が増加した。

EISでのエコドライブ

< 中略 >

この2年間で0.2リットルの消費量の増加は、2018年以降メーカーが課したパートナーズのディーゼル・エンジン出力を75馬力から100馬力に引き上げたことと、残りの半分は、消費量が1～2リットル多い208パートナーズのガソリン車の導入が一因である。

< 中略 >

10 メディア部門のCSR方針

10.1 定量的データ

指標コード	指標名	表示単位	2021年度に収集された 定量データ
< 中略 >			
SOC82	利益分配及び利益参加によるボーナスを受け取った従業員の数	整数	2,081

< 中略 >

11 注意義務計画

< 中略 >

11.3 注意義務計画における措置

< 中略 >

11.3.5 モニタリングの仕組み

< 中略 >

その他の指標 (非網羅的なリスト)

供給業者憲章

2021年12月末現在、3,882社のCCSの供給業者及び200件超のユーロ - アンフォルマシオンの供給業者が憲章を締結している (SOT100)。

< 後略 >

(2) 【役員】の状況

< 訂正前 >

< 前略 >

執行役員の報酬決定の指針

< 中略 >

1月1日から12月31日までにグループの主要経営陣に支払われた報酬

< 中略 >

2020

(金額 ユーロ) (1)	出身企業	固定部分(2)	変動部分	現物給付 (3)	追加給付に対する 企業拠出金	合計
ニコラ・テリ	クレディ・ミュチュエル	836,000.07	-	11,441.14	9,589.80	857,031.01
ダニエル・パール	クレディ・ミュチュエル	836,000.07	-	3,684.99	9,589.80	849,274.86

(a) 上記金額は、当該年度中の支払金に相当する総額である。

(b) 2020年の予想分配額と固定部分の支払額の差は、健康危機に関連して、3ヶ月間で20%を留保するという2名の役員による個人的な決定によるものである。

(c) 社用車及び/又はGSC (執行役員の失業保険)

< 後略 >

< 訂正後 >

< 前略 >

執行役員の報酬決定の指針

< 中略 >

1月1日から12月31日までにグループの主要経営陣に支払われた報酬

< 中略 >

2020

(金額 ユーロ) (1)	出身企業	固定部分(2)	変動部分	現物給付 (3)	追加給付に対する 企業拠出金	合計
ニコラ・テリ	クレディ・ミュチュエル	836,000.07	-	11,441.14	9,589.80	857,031.01
ダニエル・パール	クレディ・ミュチュエル	836,000.07	-	3,684.99	9,589.80	849,274.86

(1) 上記金額は、当該年度中の支払金に相当する総額である。

(2) 2020年の予想分配額と固定部分の支払額の差は、健康危機に関連して、3ヶ月間で20%を留保するという2名の役員による個人的な決定によるものである。

(3) 社用車及び/又はGSC(執行役員の失業保険)

< 後略 >

第6【経理の状況】

1【財務書類】

< 訂正前 >

BFCMグループ連結財務書類

< 中略 >

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

< 中略 >

注記21 - 劣後債

< 中略 >

主な劣後債

(単位:百万ユーロ)	種類	発行日	発行額	報告日現在の残高 ⁽¹⁾	金利	満期
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2014年5月21日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2024年5月21日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2015年9月11日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2025年9月11日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年3月24日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	2.375	2026年3月24日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年11月4日	700百万ユーロ	700百万ユーロ	1.875	2026年11月4日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年3月31日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.625	2027年3月31日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年11月15日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	1.625	2027年11月15日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2018年5月25日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.500	2028年5月25日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2019年6月18日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	1.875	2029年6月18日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2021年11月19日	750百万ユーロ	750百万ユーロ	1.125	2031年11月19日
CIC	参加型	1985年5月28日	137百万ユーロ	8百万ユーロ	(2)	(3)
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	借入金	2005年12月28日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	(4)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	TSS	2004年12月15日	750百万ユーロ	734百万ユーロ	(5)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	TSS	2005年2月25日	250百万ユーロ	250百万ユーロ	(6)	未定

< 中略 >

BFCM財務書類

年次財務書類

< 中略 >

BFCM年次財務書類への注記

子会社及び持分投資に関連する情報

金額は千ユーロ単位である。

A. 帳簿価額総額がBFCMの資本金の1% (16,885,295ユーロ) を超える投資に関する詳細な情報

単位:千ユーロ

	2020年12月31日現在の資本金	2020年12月31日現在の資本金及び損益以外の株主資本	2021年12月31日現在の保有資本の割合 (%)	2021年12月31日現在の保有証券の帳簿価額		2021年12月31日現在当行が供与し未返済の貸出金及び前渡金	2021年12月31日現在当行が供与している預金及び保証の金額	2020年12月31日終了事業年度の収益	2020年12月31日終了事業年度の当期純利益/損失	2021年12月31日終了事業年度に当行が受領した純配当	補足
				総額	純額						
1) 子会社 (資本金の50%超をBFCMが所有)											

< 中略 >

CM IMMOBILIER (旧Ataraxia), SAS, Orvaut	31,760	64,249	100.00	100,986	100,986	2,450	0	5,572	(4)	869	869
--	--------	--------	--------	---------	---------	-------	---	-------	-----	-----	-----

< 中略 >

BFCMグループ連結財務書類

< 中略 >

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

< 中略 >

注記21 - 劣後債

< 中略 >

主な劣後債

(単位:百万ユーロ)	種類	発行日	発行額	報告日現在の残高 ⁽¹⁾	金利	満期
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2014年5月21日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2024年5月21日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2015年11月9日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2025年11月9日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年3月24日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	2.375	2026年3月24日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年4月11日	700百万ユーロ	700百万ユーロ	1.875	2026年4月11日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年3月31日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.625	2027年3月31日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年11月15日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	1.625	2027年11月15日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2018年5月25日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.500	2028年5月25日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2019年6月18日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	1.875	2029年6月18日
CIC	参加型	1985年5月28日	137百万ユーロ	8百万ユーロ	(2)	(3)
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	借入金	2005年12月28日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	(4)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	TSS	2004年12月15日	750百万ユーロ	734百万ユーロ	(5)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	TSS	2005年2月25日	250百万ユーロ	250百万ユーロ	(6)	未定

< 後略 >

< 訂正後 >

BFCMグループ連結財務書類

< 中略 >

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

< 中略 >

注記21 - 劣後債

< 中略 >

主な劣後債

(単位:百万ユーロ)	種類	発行日	発行額	報告日現在の残高 ⁽¹⁾	金利	満期
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2014年5月21日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2024年5月21日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2015年9月11日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2025年9月11日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年3月24日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	2.375	2026年3月24日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年11月4日	700百万ユーロ	700百万ユーロ	1.875	2026年11月4日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年3月31日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.625	2027年3月31日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年11月15日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	1.625	2027年11月15日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2018年5月25日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.500	2028年5月25日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2019年6月18日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	1.875	2029年6月18日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2021年11月19日	750百万ユーロ	750百万ユーロ	1.125	2031年11月19日
CIC	参加型	1985年5月28日	137百万ユーロ	8百万ユーロ	(2)	(3)
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	借入金	2005年12月28日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	(4)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	下位劣後債	2004年12月15日	750百万ユーロ	734百万ユーロ	(5)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	下位劣後債	2005年2月25日	250百万ユーロ	250百万ユーロ	(6)	未定

< 中略 >

BFCM財務書類
 年次財務書類

< 中略 >

BFCM年次財務書類への注記

子会社及び持分投資に関する情報

金額は千ユーロ単位である。

A.帳簿価額総額がBFCMの資本金の1% (16,885,295ユーロ) を超える投資に関する詳細な情報

単位：千ユーロ

	2020年12月31日現在の 資本金	2020年12月31日現在の 資本金及び 損益以外の 株主資本	2021年12月31日現在の 保有資本の割合 (%)	2021年12月31日現在の 保有証券の帳簿価額		2021年12月31日現在の 当行が供与し未返済の 貸出金及び 前渡金	2021年12月31日現在の 当行が供与している 預金及び保証の 金額	2020年12月31日終了 事業年度の 収益	2020年12月31日終了 事業年度の 当期純利益/損失	2021年12月31日 終了事業年度に 当行が受領した 純配当	補足
				総額	純額						
1) 子会社(資本金の50%超をBFCMが所有)											

< 中略 >

CM IMMOBILIER (旧Ataraxia), SAS, Orvault	31,760	64,249	100.00	100,986	100,986	2,450	0	5,572	869	869
---	--------	--------	--------	---------	---------	-------	---	-------	-----	-----

< 中略 >

BFCMグループ連結財務書類

< 中略 >

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

< 中略 >

注記21 - 劣後債

< 中略 >

主な劣後債

(単位：百万ユーロ)	種類	発行日	発行額	報告日現在の残高 ⁽¹⁾	金利	満期
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2014年5月21日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2024年5月21日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2015年11月9日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	3.00	2025年11月9日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年3月24日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	2.375	2026年3月24日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2016年4月11日	700百万ユーロ	700百万ユーロ	1.875	2026年4月11日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年3月31日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.625	2027年3月31日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2017年11月15日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	1.625	2027年11月15日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2018年5月25日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	2.500	2028年5月25日
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	償還可能劣後債	2019年6月18日	1,000百万ユーロ	1,000百万ユーロ	1.875	2029年6月18日
CIC	参加型	1985年5月28日	137百万ユーロ	8百万ユーロ	(2)	(3)
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	借入金	2005年12月28日	500百万ユーロ	500百万ユーロ	(4)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	下位劣後債	2004年12月15日	750百万ユーロ	734百万ユーロ	(5)	未定
フランス相互信用連合銀行 (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)	下位劣後債	2005年2月25日	250百万ユーロ	250百万ユーロ	(6)	未定

< 後略 >